



JUST.
SYSTEMS

ATOK for Windows

基本的な使い方

- 「ATOK for Windows」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Windows」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「ATOK」「推測変換」「VoiceATOK」「一太郎」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Microsoft、Excel、Microsoft Edge、Microsoft Teams、Outlook、PowerPoint、Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Zoom および Zoom ロゴは、米国およびその他の国で登録された Zoom Communications, Inc. の商標です。
- Apple、iMac、iPad、iPadOS、iTunes、Mac、MacBook Air、および macOS は、米国 Apple Inc. の商標です。商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用されています。
- IOS は、Cisco 社の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- 「Android」、「Google Meet」は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本商品に含まれる郵便番号辞書（7 枝/5 枝）は日本郵便株式会社が公開したデータを元に制作されたものです。（一部データの加工を行っています）
- 「大漢和コード」は株式会社大修館書店刊行の諸橋轍次著『大漢和辞典』所載の漢字番号です。
- Unicode は Unicode, Inc. の商標です。
- 本商品に含まれるスペルチェック用英単語辞書は、株式会社大修館書店から許諾・提供された英単語データを元に株式会社ジャストシステムが開発したものです。
- 本商品に含まれる電子辞典は、各商品の書籍版データに基づいて、ATOK のかな漢字変換に必要な情報を示す機能をもたせたものです。そのため、書籍版とは一部相違があることをあらかじめご了承ください。
- その他記載された会社名、商品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本マニュアル（紙媒体または電子データで提供するものを含みます）は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。
 - お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しことはできません。
 - マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

©2026 株式会社ジャストシステム

ATOKについての詳しい情報は ▶ atok.com ^

はじめに

ATOK Passportとは

ATOK Passportは、パソコン・スマートフォンといったデバイスを超えて、最新のATOKを利用できる定額制の日本語入力サービスです。Windowsのほか、Androidのスマートフォンやタブレット、MacやiOSなどでも最新のATOKを最大10台まで利用できます。

「ATOK for Windows」などのATOK機能のほか、ATOK Passport限定のATOKクラウドサービスを利用できます。ATOKクラウドサービスでは、最新キーワードの受け取りや、デバイス間で登録単語などのデータ共有ができるほか、オンラインの電子辞典との連携やオンライン文章校正などの便利なサービスを利用できます。

マニュアルでの表記

● ヘルプ

マニュアルで紹介していない機能や、機能の詳しい説明はATOKのヘルプをご覧ください。マニュアルで紹介している機能のうち、詳しい説明や関連する説明のヘルプがあれば、[ATOKヘルプキーワード] というマークに続けて、ヘルプのキーワードを記載しています。

▶P.36 ヘルプを活用する

● 画面上に表示されている文字

メニュー名・コマンド名、ダイアログボックス名、ダイアログボックス内のシート名・項目名・ボタン名は、[] で囲んで表記します。

● キーボード・キー操作

- 本書では109／106キーボードのキーで表記しています。101英語キーボードでは、次のキーが異なります。
- Shift + Caps Lock英数キー（101英語キーボードではCaps Lockキー）
- カタカナ ひらがなキー（101英語キーボードではShift + Ctrl + Caps Lockキー）
- お使いのキーボードの種類によっては、キーの表面に書かれている Ctrl のような文字が、マニュアルのキーの文字と異なる場合があります。
- 同時に複数のキーを押す場合は、Shift + Enterキーのように、キーを「+」で結んでいます。

● 使用している OS・画面

本書ではWindows® 11上で、言語バーを表示せずに、タスクバーにATOKの状態を表示しているものとして説明しています。

お使いのOS（エディション・バージョン）や設定によっては、画面表示やOSの操作が一部異なる場合があります。

目次

はじめに	2
ATOKの新機能・特長	6
生成AIを活用！－ATOK MiRA－【NEW!】	6
Arm版Windows 11にネイティブ対応【NEW!】	8
ATOKをインストールする	9
インストール前に確認してください	9
動作環境	10
シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認	11
旧バージョンのATOKをお持ちの場合	12
ATOK for Windowsをインストールする	14
ATOKの環境を設定する	17
ATOKを有効化して利用を開始する	20
ATOKを有効化する	20
ATOKクラウドサービスの初期設定をする	23
ATOK My Passportの設定をする	24
ATOKわたしの辞書プラスを設定する	26
インストールとサービスの設定が完了したら	29
ATOKが使える状態になっているか確認する	29
ATOKクラウドサービスの使い方を確認する	29
ATOK My Passportページの表示を確認する	31
辞書、電子辞典、省入力データがインストールできたかどうか確認する	32
インストールした内容を削除するには	34
ATOKを削除（アンインストール）する	34
辞書・辞典を削除（アンインストール）する	35
ヘルプを活用する	36
文字入力の基本	37
ATOKをオンにする	37
タスクバーの使い方	39
言語バーの使い方	39
ATOKパレットの使い方	41
ATOKメニューについて	42
漢字かな交じり文を入力する	46

文節の区切りを直す	47
候補ウィンドウの使い方	48
タッチ環境での候補ウィンドウの表示	51
いろいろな文字の入力	52
カタカナを入力する	52
アルファベットを入力する	52
記号を入力する	54
難しい漢字を入力する	56
顔文字を入力する	56
外字を入力する	56
日付を入力する	57
入力を補助するパレット	58
文字パレット	58
手書き文字入力	60
クリックパレット	61
日付入力パレット	61
変換・確定に便利な機能	62
専門用語変換辞書	62
不適切な表現・誤りを指摘する	67
話し言葉や方言・文語表現で変換する	69
よく使う単語や表現・フレーズを簡単に入力する	70
入力しようとしている文字列を推測して表示する	70
省入力データを使って簡単に入力する	71
別の言い回しや表現にする－連想変換「類語ファインダー」－	73
メール署名など、よく使う文書をお気に入り文書に登録して利用する	74
よく使う定型文などの文書を簡単に収集・再利用する－ATOK@ブンコレ－	74
文例集から選んで入力する－定型文書入力－	74
よく使う単語を辞書に登録する	75
電子辞典でことばの意味を確かめる	77
文章の閲覧中にことばの意味を調べる－ATOKイミクルー－	77
文章の入力・変換中にことばの意味を調べる	78
設定のカスタマイズ	81
使いやすい設定に変更する	81
使い方にあった入力・操作環境を整える	82
アプリケーション別に設定を切り替える	83
辞書・データのメンテナンス	84

辞書をメンテナスする	84
文書やRSS、Atomから自動で単語を登録する	85
旧バージョンのATOKや、Microsoft IMEで登録した単語を利用する	85
ATOKの環境をバックアップする	86
辞書・登録単語に関するよくある質問	87
同じパソコンにある旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システムに登録した単語を利用したい	87
変換時に「辞書として扱えません」「辞書ファイルが見つかりません」などのメッセージが表示される	87
旧バージョンのATOKで登録した単語（ユーザー辞書）を別のパソコンで利用したい	87
ATOKで登録した単語や設定を別のパソコンで利用したい	88
ATOK連携電子辞典を別ドライブにインストールしたい	88
旧バージョンで使っていた変換辞書・電子辞典・省入力データを使用したい	89
旧バージョンで使っていた角川類語新辞典for ATOK（連想変換辞書）を使用したい	91
ATOKクラウドサービスとは	93
最新のキーワードを受け取る – ATOKキーワードExpress –	93
複数の環境でATOKを同じように使用する – ATOK Sync AP –	93
変換したことばを翻訳する – 8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOK –	95
ATOKクラウド推測変換サービス	95
ATOKナントカ変換サービス	96
ATOKクラウド辞典サービス	96
ATOKクラウド文章校正サービス	96
ATOK MiRA	96
ATOK Passportをもっと活用する	97
ATOK My Passport	97
ATOKマンスリーレポート	97
ショートカットキー一覧（ATOKスタイル）	98
ショートカットキー一覧（MS-IMEスタイル）	102
ローマ字・かな対応表	106

ATOKの新機能・特長

最新のATOKで追加、または強化された機能について紹介します。

▶ ATOKヘルプキーワード 新機能

生成AIを活用！－ATOK MiRA－【NEW!】

ATOK クラウドサービスに、生成 AI を活用した新たな入力支援、文章作成アシスタント「ATOK MiRA」

(エイトックミラ：ATOK My Intelligent Rewrite Assistant) を追加しました。

従来の入力操作の延長線上で、シームレスに生成 AI と対話して、文章を作成・書き換えることができます。ATOK MiRA で作成する文章には、利用中の ATOK での文体の傾向・特徴を反映することもできます。ATOK が積み上げてきた日本語技術の成果として、新たな AI ライティング体験を届けます。

※「ATOK MiRA」は、ATOK Passport 限定の ATOK クラウドサービスの 1 つです。

※「ATOK MiRA」のご利用には、インターネット常時接続環境が必要です。

● 文章作成のフェーズに応じた操作性

入力中の文章でも、入力済みの文章を選択しても、ATOK MiRAを利用して文章を書き換えられます。

ブース来場のお礼



Shift+Ctrl+M



入力中に Shift + Ctrl + M キーを押す

駅前のカフェに行った。

コーヒーとチーズケーキを食べた。

雰囲気が落ち着いていたのでまた行きたい。



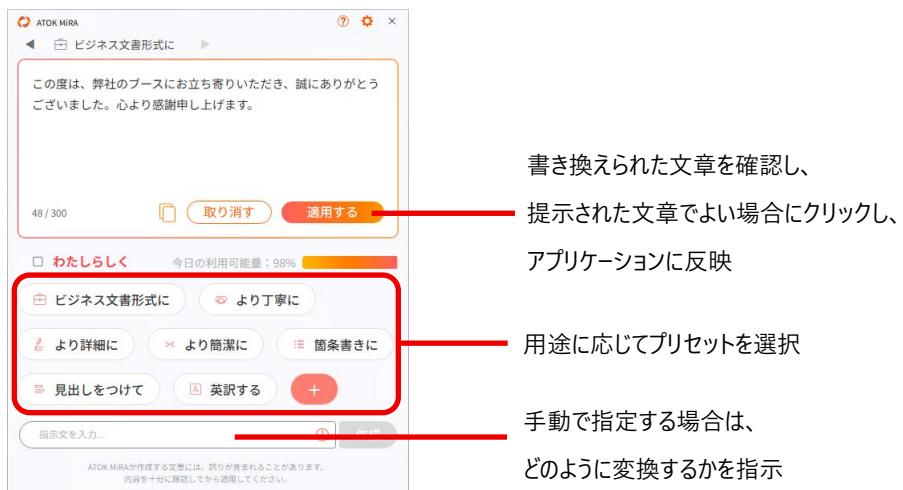
Shift+Ctrl+M



範囲選択して Shift + Ctrl + M キーを押す

● よく利用するシーンの文体はプリセットから選択

よく利用するシーンを想定したプロンプトを、あらかじめプリセットとして用意しています。プリセットから選択するだけで、シーンに応じた文章を簡単に作成できます。手動で指定することもできるので、目的や好みに応じた文章を生成できます。



● パーソナルな設定を反映した文章を作成

生成 AI による文章に書き換えるだけでなく、現在利用中の ATOK での設定を参照し、ATOK を使った入力に近い文体で書き換えることができます。

この設定を有効にすると、ATOK MiRA が自動的に生成 AI に指示するプロンプト文を調整します。例えば、ATOKわたしの辞書プラスで「医療」を選択している場合は語彙に医療関係の内容を、「建築・土木」を選択している場合は語彙に建築・土木関係の内容を、それぞれ反映した文面に調整されます。

※ ATOKわたしの辞書プラスの「選択ジャンル」や、プロパティ（環境設定）の「句点」「読点」「送り仮名」などの設定が反映されます。



Arm 版 Windows 11 にネイティブ対応 【NEW!】

Arm 版 Windows 11 で、Arm ネイティブアプリ（ARM64）上での日本語入力ができるようになりました。Arm ベースプロセッサーの性能が発揮されるネイティブアプリ上で、ATOK による入力体験を提供します。

※ARM64（x64 互換）、x64/x86 アプリでの日本語入力にも対応しています。

ATOKをインストールする

インストール前に確認してください

インストールする前に、次の点について確認してください。

1.パソコンの動作環境

••> P.10

インストールするパソコンに、必要な空き容量やメモリがあるかなどを確認します。

2.シリアルナンバー・オンライン登録キー・User ID の確認

••> P.11

インストールする前に、本商品のシリアルナンバー・オンライン登録キー、ジャストシステムのUser IDを用意しておきます。ATOKを有効化するときに入力が必要です。

3.旧バージョンのATOKをお持ちの場合

••> P.12

旧バージョンのATOK・ATOKシリーズをお持ちの方は、必ずご確認ください。

4.インストールを始める

••> P.14

以上の確認が終わったら、本商品のプログラムをダウンロードし、インストールを始めます。

インストール完了後、ATOKの環境を設定します。

5.ATOKを有効化して利用を開始する

••> P.20

ATOKを有効化し、利用を開始します。

また、ATOKクラウドサービスの初期設定、ATOK My Passportの設定を進めます。

6.インストールとサービスの設定が完了したら

••> P.29

ATOKが使える状態になっているか確認します。

動作環境

OS	Windows 11 日本語版が正しく動作するパソコン ※ Windows 10／8.1／8／7 環境にはインストールできません。 ※ 64 ビット (x64/Arm64) 環境に対応しています。 ※ 下記エディションで動作します。 Windows 11 Home／Pro／Enterprise／Education
ハードディスク ／ストレージ 必要容量	900MB 以上 ※ Microsoft®.NET Framework 4.6.2 以上がない環境には、Microsoft .NET Framework 4.6.2 をインストールします。（ハードディスク必要容量 3.2GB） ※ Microsoft Edge® WebView2 Runtime がない環境には、Microsoft Edge WebView2 Runtime をインストールします。（ハードディスク必要容量 538MB） ※ お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は異なります。

- ◆ ATOK Passportを契約したお客様が占有するパソコン（Windows/Mac）およびAndroid/iOS端末、合計10台まで導入できます。
- ◆ インストールするドライブやフォルダーを変更することはできません。
- ◆ 「ATOKクラウドサービス」は、ATOK Passportのご契約中は無料でご利用いただけます。インターネット常時接続環境が必要です。
- ◆ 「ATOK Sync AP」をWindows以外の環境でご利用いただくには、各デバイスに対応したATOKが別途必要です。
- ◆ 「ATOKキーワードExpress」は、最新バージョンのATOKでのみご利用いただけます。
- ◆ 「ATOK MiRA」「ATOK@ブンコレ」「ATOKわたしの辞書プラス」のご利用には、インターネット常時接続環境が必要です。
- ◆ 「ATOK@ブンコレ」「ATOKアトカラ」「ATOKツール」「ATOKマンスリーレポート」のご利用には、Microsoft Edge WebView2 Runtime が必要です。
- ◆ JUST オンラインアップデートを利用するには、インターネット常時接続環境が必要です。

① インストールで困ったら

サポートFAQでは、インストールに関するよくあるお問い合わせとその答えをまとめたものを提供しています。サポートFAQは、サポート情報サイトから参照できます。

サポート情報サイト <https://support.justsystems.com/>

シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認

ATOKの利用を開始（有効化）するときに、Just アカウント（メールアドレス・パスワード）または、ATOK Passportのシリアルナンバー・オンライン登録キーを入力する画面が表示されます。
ATOKを有効化する場合、これらの入力が必要です。

下の表で、記載場所、入力する画面を確認してください。

入力する項目	記載場所	入力する場面
Just アカウント ・メールアドレスまたは User ID ・パスワード	ATOK Passport をご契約中の場合は、ご購入手続き完了後に@atok.com または @justmyshop.com からお送りしたメールにシリアルナンバー・オンライン登録キー・User ID が記載されています。	・ATOK を有効化する ▶ P.21 操作 2.Just アカウントを入力する ・ATOK クラウドサービスの初期設定をする ▶ P.24 操作 2.Just アカウントを入力する ・ATOK My Passport の設定をする ▶ P.25 操作 2.Just アカウントを入力する
ATOK Passport ・シリアルナンバー 18 行 ・オンライン登録キー 5 行		・ATOK を有効化する ▶ P.21 操作 2.Just アカウントを入力する
User ID 10 行		※Just アカウント（メールアドレス・パスワード）の代わりに、ATOK Passport のシリアルナンバーとオンライン登録キーで有効化することもできます。 ※Just アカウントのメールアドレスの代わりに、ジャストシステムの User ID を使用することもできます。

⚠ オンライン登録キーを入力するときの注意事項

オンライン登録キーは、大文字の英字と、数字との組み合わせです。

大文字の英字（アルファベット）と数字には、例えば下記のように、似てい
て見まちがえやすい文字があります。

- ◆ アルファベット「O」（オー）と数字「0」（ゼロ）
- ◆ アルファベット「I」（アイ）と数字「1」（イチ）
- ◆ アルファベット「Z」（ゼット）と数字「2」（ニ）
- ◆ アルファベット「S」（エス）と数字「5」（ゴ）
- ◆ アルファベット「B」（ビー）と数字「8」（ハチ）
- ◆ アルファベット「U」（ユー）と「V」（ブイ）など

英数字をよく確認して入力してください。

① 一太郎2026をお使いの方へ

一太郎2026をお使いの場合、ATOK Passport用のシリアルナンバー・オンライン登録キーの確認方法は、購入された商品によって異なります。

手順について詳しくは、一太郎のマニュアル（PDF）とインストールガイド（パッケージ版に同梱）をご確認ください。

旧バージョンのATOKをお持ちの場合

■ 旧バージョンのATOKの削除

- ◆ ATOK Passportの契約で動作するATOKは、1つのパソコン内に1バージョンのみです。本商品をインストールすると、旧バージョンは削除されます。
- ◆ 「一太郎」に搭載されていたATOKも、本商品をインストールすると削除対象のバージョンは削除されます。

▶ P.16 旧バージョンのATOKの削除について

▶ P.35 旧バージョンのATOKを削除する

旧バージョンのATOKを削除しても、別に購入した専門用語変換辞書やATOK連携電子辞典、旧バージョンで登録した単語（ユーザー辞書）は削除されず、スタートアップツールで最新のATOKに引き継いで使用できます。

▶ P.17 ATOKの環境を設定する

■ 旧バージョンからの引き継ぎ

- ◆ ATOK Passport、一太郎に搭載されていたATOKとも、旧バージョンからの引き継ぎができます。
 - ◆ 旧バージョンの辞書や登録単語、入力・変換の設定などは、スタートアップツールを利用して最新のATOKで使えるようにします。
- スタートアップツールは、初めて最新のATOKが使える状態になったときに自動的に起動します。画面の説明に従って操作を進めるだけで、旧バージョンのATOKの辞書や登録単語、入力・変換の設定などを引き継げます。

※ 引き継ぎの対象は、ATOK (Tech Ver.35)～ATOK (Tech Ver.31)、ATOK 2017～2007です。

- ◆ すべての辞書セットに設定されている辞書と各ユーザー辞書を最新のATOKで使える辞書にコンバートし、最新のATOKの各辞書セットに追加、またはユーザー辞書として設定します。

① 引き継ぎ対象

- ・専門用語変換辞書（一部の辞書を除きます）
- ・省入力データ
- ・連想変換辞書
- ・定型文書

※ ATOK連携電子辞典は、最新のATOKでもそのまま利用することができます。

▶ P.87 辞書・登録単語に関するよくある質問

■ Voice ATOKをご利用の方へ

本商品の環境では、Voice ATOK は利用できません。

■ 記号入力モード（F10キー）の利用

ATOKの初期設定では、記号入力モード（F10キー）は利用できません。プロパティ（環境設定）の [入力・変換] シートの [入力補助-特殊] で [記号入力モードを使用する] をオンにします。

▶P.81 使いやすい設定に変更する

旧バージョンのATOKからの変更点や、辞書などのデータの引き継ぎについて、詳しくはヘルプをご覧ください。

▶ATOK ヘルプキーワード 変更機能

ATOK for Windowsをインストールする

ATOK Passportで使えるATOK for Windowsをダウンロードし、パソコンにインストールします。

下記のどれかの方法で、ATOK for Windowsをダウンロードしておいてください。

ダウンロードを行うには次のような手段があります。

- ◆ ATOK Passportを契約したときに送られるメールに記載されたURLから
- ◆ ATOK My Passportページから
 - ▶ P.31 ATOK My Passport ページの表示を確認する
- ◆ ATOK.com から 無償試用版をダウンロードして使うこともできます。

<https://atok.com/try/>

1. インストールを始める準備をする

1. パソコンを再起動します。
2. 管理者アカウントのユーザーでサインインします

① 管理者アカウントとは

Windowsのすべての機能が使えるユーザーのことです。アカウントの種類を確認するときは、コントロールパネルの「[ユーザー アカウント]」*1 を選択します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

*1 お使いのOSによっては項目が異なる場合があります。

3. 自動的に起動したアプリケーションがあれば、すべて終了します。

2. インストールプログラムを起動する

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、解凍先を指定します。

自動的に解凍が始まります。

※ [ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードを入力し、[はい] または [OK] をクリックします。必要に応じて、ユーザー名やメールアドレスを入力します。

2. 解凍が完了したら、[OK] をクリックします。

インストールを始める画面が表示されます。

※ インストールを始める画面が表示されていない場合は、解凍先として指定したフォルダー内の「AUTOPLAY.EXE」をダブルクリックします。

3. [ATOK for Windows のインストール] をクリックします。



[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、P.15 の操作 4.に進みます。
インストールプログラムが起動した場合は、操作 3 に進みます。

① インストールを始める画面に並ぶボタン

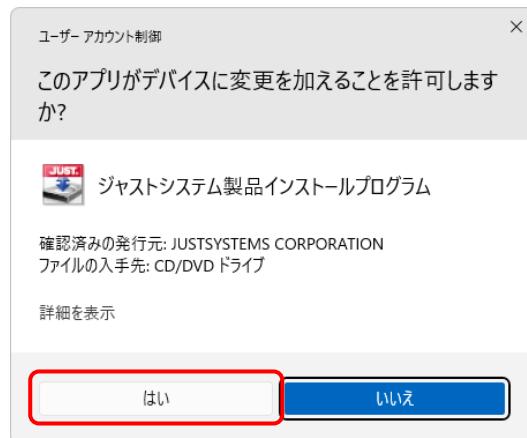
- ◆ [インストールで困ったら]

ATOKのインストールと環境設定・有効化の説明を起動します。

※次のツールは [ATOK for Windows のインストール] を実行するとインストールされます。

- ATOK Sync AP

4. [はい] をクリックします。



※お使いの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

インストールプログラムが起動します。

※インストールは中止しないで、できるだけ最後まで進めてください。

3. 使用許諾契約を確認する

1. 使用許諾契約書をよく読んで、[同意する] をクリックします。



4. インストールを開始する

インストールを開始します。

※ インストールするドライブやフォルダーを変更することはできません。

1. [インストール開始] をクリックします。

① 旧バージョンのATOKの削除について

本商品のATOKは、旧バージョンのATOKとは共存しません。削除の対象となる旧バージョンのATOKは削除されます。インストールの際には、ATOKの削除確認の画面も表示されません。

※ プログラムを削除しても、登録した単語や設定は本商品に引き継ぐことができます。

※ 削除対象外のATOKは、本商品と同じパソコンで使用できます。

① 削除の対象となる ATOK のバージョン

ATOK (Tech Ver.35)、ATOK (Tech Ver.34)、ATOK (Tech Ver.33)、ATOK (Tech Ver.32)、ATOK (Tech Ver.31)

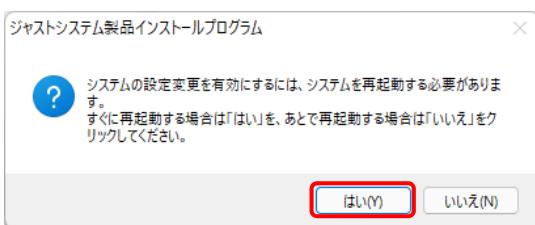
※ ATOK for 一太郎 (2021～2018) を含みます。

※ ATOK 2017 以前のATOKを削除する場合は、

※ 「P.35 旧バージョンのATOKを削除する」をご覧ください。

5. インストールを終了する

1. インストールの完了を確認する画面が表示されたら、[終了する] をクリックします。
2. 再起動を確認する画面が表示されたときは、[はい] をクリックして、Windowsを再起動します。



ATOKの環境を設定する

Windowsを再起動し、デスクトップ画面に切り替えると、自動的にATOKの環境を設定するスタートアップツールが起動します。

1. スタートアップツールを実行する

スタートアップツールでは、次のことが行えます。

- ◆ 旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システム（Microsoft IME）の辞書に登録している単語を、最新のATOKの辞書に追加する
- ◆ 旧バージョンのATOK（ATOK 2007以降）から入力や変換に関する設定を引き継ぐ
- ◆ ATOKのキー操作を、Microsoft IME風に設定する
[例] ↓キーで次候補、←・→キーで文節移動
- ◆ ATOK Sync APを利用している場合に、インターネットディスク上にアップロードしているデータを取り込む

※スタートアップツールについて詳しくは、[ヘルプ] をクリックして表示される説明をご覧ください。

① スタートアップツールをあとで実行する

タスクバー上の [スタート] ボタンをクリックし、[すべて] をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、[ATOK-スタートアップツール for ATOK] を選択します。

1. [次へ] をクリックします。



① スタートアップツールの起動について

Windowsを複数のユーザーで利用する設定にしている場合は、ATOKをインストールしたときとは異なるユーザーで初めてサインインしたときにも、スタートアップツールが自動的に起動します。

① スタートアップツールの設定が有効になるタイミング

スタートアップツールで設定した内容は、スタートアップツールを終了したあとに起動するアプリケーションから有効になります。

※スタートアップツールを終了する前に起動していたアプリケーションでは有効になりません。

また、デスクトップ画面では、Windowsを再起動後に有効になります。

2. 引継ぎ設定をする

以降の操作は、ハードディスクに旧バージョンのATOKがあるかないかで異なります。

● ハードディスクに旧バージョンのATOKがある場合

1. [標準]／[手動]のどちらかを選択し、[次へ]をクリックします。

[標準]

インストールされている旧バージョンのATOKの中で、最も新しいATOKの内容が引き継がれます。

- ◆ 入力・変換の設定
- ◆ 辞書・登録単語

オプション商品の専門用語変換辞書や連想変換辞書も、一部の辞書を除き、そのまま最新のATOKで使える辞書として引き継がれます。
- ◆ お気に入り文書・省入力データ・確定履歴など各種ユーザーデータ
- ◆ プロパティ関連付けツール、文書学習ツールの設定

※表示色などの設定は引き継がれません。

[手動]

[標準]で引き継げる内容のほかに、以下の内容も引き継げます。

- ◆ キー・ローマ字の割り付け^{*1}
- ◆ 表示色の設定^{*1}

*1 自分で作成したスタイルを使用していた場合は、[標準]でも引き継ぐことができます。

あとは画面に従って操作を進めます。

※ [ヘルプ]をクリックすると、各設定項目の説明を見ることができます。

● ハードディスクに旧バージョンのATOKがない場合

1. 文字の入力方法（ローマ字／カナ）を選択し、[次へ]をクリックします。
2. ATOK標準のキー操作にするか、Microsoft IMEと同じようなキー操作にするかを選択し、[次へ]をクリックします。

あとは画面に従って操作を進めます。

※ [ヘルプ]をクリックすると、各設定項目の説明を見ることができます。

以上でATOKのスタートアップツールの設定が完了しました。

スタートアップツールでの設定が終了すると、[ATOK for Windows 利用開始方法について] 画面が表示されます。

引き続き、ATOKを有効化する操作へ進みます。

▶P.20 ATOKを有効化して利用を開始する

① ATOKの環境設定やユーザー辞書について

ATOKの環境設定は、インストール後、各ユーザーで初めてサインインしたときに、レジストリに記述されます。

? : ¥Users^{*1} ¥<各ユーザー名>¥AppData¥Roaming¥Justsystem
¥ATOK36

※「?」には、Windowsの存在するドライブ名がります。

*1 エクスプローラーなどでは「ユーザー」と表示されます。

ユーザー辞書のファイル名と保存場所は、ATOKのプロパティ（環境設定）の[辞書・学習]シートで、[学習]の[詳細設定]をクリックして確認できます。バックアップツールを使って、ユーザー辞書などを保存することもできます。

▶P.86 ATOKの環境をバックアップする

なお、上記の場所がエクスプローラーなどに表示されないときは、すべてのファイルとフォルダー、拡張子を表示する設定に変更します。

▶ATOKヘルプキーワード 拡張子

ATOKを有効化して利用を開始する

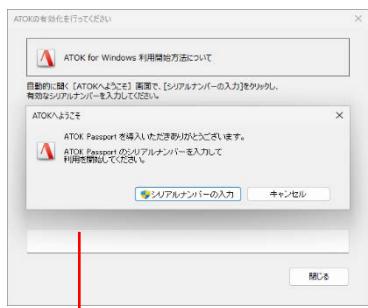
ATOKを有効化する

ATOKの有効化を行い、ATOKを使用できるようにします。

ATOKの有効化では、契約情報を管理するサーバーとインターネット接続をして、ライセンスの有効化手続きを行います。

1. [ATOKへようこそ] 画面の表示を確認する

初めてATOKを使用する環境の場合は、スタートアップツール終了時に、[ATOK for Windows 利用開始方法について] 画面が自動的に表示されます。また、重ねて [ATOKへようこそ] 画面が表示されます。



[ATOKへようこそ] 画面が表示されない場合は、入力欄をクリックし、半角／全角キーを押す

① [ATOKへようこそ] 画面が表示されない

[ATOK for Windows 利用開始方法について] 画面の入力欄をクリックし、キーボードの半角／全角キーを押すと、[ATOKへようこそ] 画面が表示されます。

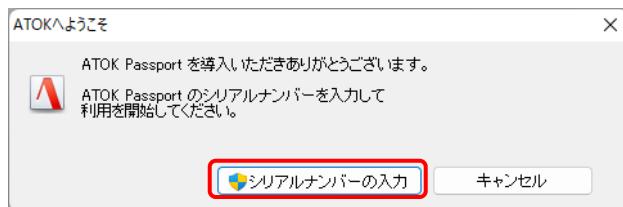
[ATOK for Windows 利用開始方法について] 画面が閉じてしまった場合は、メモ帳を起動し、キーボードの半角／全角キーを押します。

② 有効化や接続テストの際に「ネットワークでエラーが発生しました」と表示される

ATOK Passportの利用時や有効化、接続テストなどの際にエラーが表示される場合は、パソコンの状態を確認したり、契約の情報を確認したりします。操作方法について詳しくは、サポート情報サイトを参照してください。

<https://support.justsystems.com/>

1. [シリアルナンバーの入力] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。



① 無償試用ができる場合

ATOKを無償試用できる場合は、画面に[試用する]が表示されます。ATOKを無償試用する場合は、[試用する]を選択して試用を開始してください。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

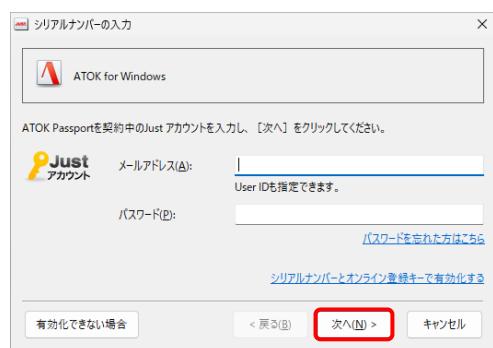
あとは、画面に従って操作を進めます。

- ※ Administratorsグループに所属しているユーザーや、管理者アカウントのユーザーでサイ
ンインしている必要があります。
- ※ 無償試用中は、ATOKクラウドサービスやATOK My Passportはご利用いただけません。

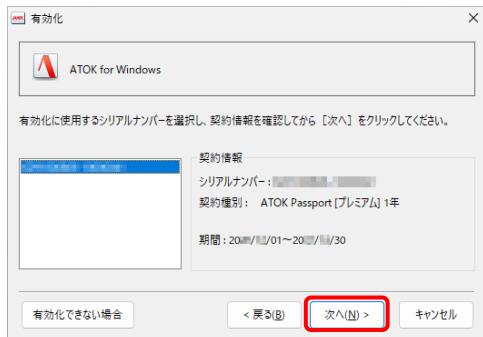
2. Just アカウントを入力する

1. 画面に従って、Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

ATOK Passportを契約したときのJust アカウントを入力します。



2. 画面左側の一覧で、このパソコンで利用するATOK Passportのシリアルナンバーを選択し、[次へ]をクリックします。



⚠️ シリアルナンバーとオンライン登録キーは大切に保管してください。

ATOK Passport契約の手続き完了後に、@atok.comまたは@justmyshop.comからお送りしたメールにシリアルナンバーとオンライン登録キーが記載されています。再インストールする場合などに必要になりますので、大切に保管してください。

3. 有効化を終了する

1. 画面に従って有効化を終了します。

以上でATOKの有効化は完了しました。

ATOKクラウドサービスの設定を行っていない場合は、ATOKの有効化が完了すると、引き続きATOKクラウドサービスの設定を行う画面が表示されます。

▶P.23 ATOKクラウドサービスの初期設定をする

① 無償試用期間終了後に引き続きATOKを利用する場合

無償試用版を試用できる期間は、ATOKを試用し始めた日から30日間です。

継続してATOKを利用したい場合は、ジャストシステムのオンラインショッピングサイト「Just MyShop」から、「ATOK Passport」をご購入ください。

購入すると、シリアルナンバーとオンライン登録キーが発行されるので、「ATOKを有効化する」の操作を行ってください。

有効化すると、ATOKを引き続き使用できるようになります。また、ユーザー辞書の学習は引き続き利用できます。

ATOKクラウドサービスの初期設定をする

1. ATOKクラウドサービスの設定をする

有効化が完了すると、引き続きATOKクラウドサービスの設定を行う画面が表示されます。

ATOKクラウドサービスを利用する場合は、サービスの申し込みなど、必要な手続きや設定を行うことができます。

▶P.29 ATOKクラウドサービスの使い方を確認する

- [次へ] をクリックします。



ATOKクラウドサービスを利用しない場合は、[キャンセル] をクリックします。

① ATOKクラウドサービスの初期設定をあとで実行する

タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

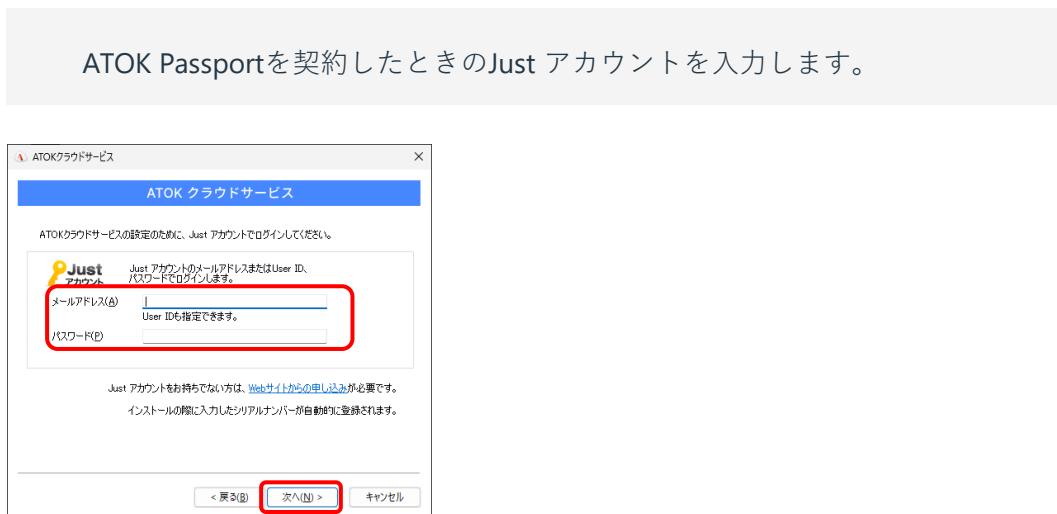
* 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの[メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

- ATOK MiRA の案内画面を確認し、[次へ] をクリックします。



2. Just アカウントを入力する

- Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



あとは画面に従って操作を進めます。

ATOKクラウドサービスの設定が終了したら、引き続きATOK My Passportの設定を行う画面が表示されます。

▶ P.24 ATOK My Passportの設定をする

① ATOKクラウドサービスのご利用について

- ◆ ATOKクラウドサービス
 - ▶ P.29 ATOKクラウドサービスの使い方を確認する
<https://www.atok.com/useful/>

ATOK My Passportの設定をする

1. 利用中の端末をATOK My Passportの表示対象に設定する

ご利用中の端末をATOK My Passportの表示対象に含める場合は、画面に従って操作を進めます。

- [送信する] がオンになっていることを確認し、[次へ] をクリックします。



※ ATOK My Passportを利用しない場合は、「後から行う」をクリックします。

ご利用中の端末がATOK My Passportの表示対象に設定されました。

2. Just アカウントを入力する

- Just アカウントの入力画面が表示されたら、Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

※ ATOKクラウドサービスの初期設定から引き続き操作している場合、この操作はスキップされます。

ATOK Passportを契約したときのJust アカウントを入力します。

3. ATOK My Passportの設定を完了する

あとは画面に従って操作を進めます。

① ATOK My Passportの初期設定をあとで実行する

タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ヘルプ-ATOK My Passportに表示する情報を送る] を選択します。

※ 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの／[メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ヘルプ-ATOK My Passportに表示する情報を送る] を選択します。

ATOK My Passportの設定を終了すると、必要に応じて自動的にカスタムATOKが起動します。カスタムATOKの「わたしの辞書プラス」画面で、ATOKわたしの辞書プラスについて設定をします。

▶ P.26 ATOKわたしの辞書プラスを設定する

ATOKわたしの辞書プラスを設定する

ATOKわたしの辞書プラスを設定し、よく利用するジャンルの語彙を取得できるようにします。

1. 追加するジャンルを選択する

- [使用する] が選択されていることを確認します。



- ジャンルごとに表示されている一覧から、よく使用するジャンルを選択します。
□をクリックして、オン／オフを切り替えます。

2. ATOKわたしの辞書プラスの設定を完了する

- 画面下部の「カスタム内容を確認」をクリックします。
[こだわりカスタム 確認画面] が表示されます。
- 設定結果を確認し、「カスタムの実行」をクリックします。
選択した設定が適用されたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 「OK」をクリックします。
カスタムATOKが終了します。

以上でATOKのインストールと設定が完了しました。

ATOKが使える状態になっているか確認したり、ATOKクラウドサービスの使い方などについて確認したりします。

- ▶ P.27 アップデートを知らせる画面が表示されたときは
- ▶ P.29 インストールとサービスの設定が完了したら
- ▶ P.31 ATOK My Passportページの表示を確認する

① ATOKわたしの辞書プラスの設定をあとで実行する

タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [辞書メンテナンス - ATOKわたしの辞書プラス] を選択します。

* 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [辞書メンテナンス - ATOKわたしの辞書プラス] を選択します。

① アップデートを知らせる画面が表示されたときは

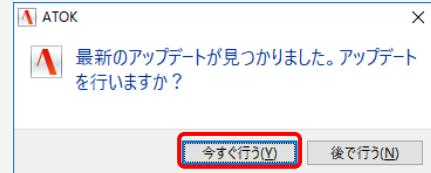
ATOKをインストールすると、アップデートモジュールの配信を定期的にチェックしてお知らせする「JUSTオンラインアップデート」も同時にインストールされます。

より安全・安心に商品をお使いいただくために、JUSTオンラインアップデートでアップデートモジュールを導入し、プログラムは常に最新の状態にしてご使用になることをお勧めします。

◆ ATOKのインストールとサービスの設定
後、最新のアップデートが見つかった場合は、アップデートを行う画面が表示されます。[今すぐ行う] をクリックすると、JUSTオンラインアップデートが起動します。

◆ ATOKを利用開始後、導入が必要なアップデートモジュールなどがあると、JUSTオンラインアップデートの画面が表示されます。

JUST オンラインアップデートを知らせる画面が表示されたときは、実行する商品のチェックボックスをオンにして、[ダウンロードして実行] をクリックします。



① 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しなおす

使用者名やUser IDは、JS使用者情報変更ツール^{*1}を使って、あとから変更することができます。

ツールが起動したら、対象を選択して情報を設定し、[登録]をクリックして操作を進めます。

※使用者名は、各ユーザーで設定した内容が変更されます。法人名・シリアルナンバー・User IDは、管理者アカウントのユーザーで設定した内容が変更されます。

※ [変更対象製品]で[すべての製品]を選択した場合、シリアルナンバー・User IDの変更はできません。

*1 [JS使用者情報変更ツール]は、次の方法で起動します。

タスクバー上の[スタート]ボタンをクリックし、[すべて]をクリックしてアプリ一覧を表示し、アプリ一覧から[JustSystems ツール&ユーティリティ-JustSystems ツール&ユーティリティ]を選択し、[商品共通]から[JS使用者情報変更ツール]を選択します。

インストールとサービスの設定が完了したら

ATOKが使える状態になっているか確認する

ATOKをインストールすると、タスクバー（言語バー）とATOKパレットに、ATOKの状態が表示されます。

● タスクバーの場合

デスクトップ画面のタスクバーにATOKのボタンが表示されます。

▶P.37 ATOKをオンにする

▶P.29 Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されない

▶P.38 Windowsの言語バーを表示する



● ATOKパレットの場合

デスクトップ画面にATOKパレットが表示されます。

▶P.37 ATOKをオンにする

▶P.41 ATOKパレットの使い方



● タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されない

▶P.37 タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されない

● Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されない

Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されないときは、一度ATOKを削除（アンインストール）し、再度ATOKをインストールする必要があります。

操作方法について詳しくは、サポート情報サイトを参照してください。

<https://support.justsystems.com/>

ATOKクラウドサービスの使い方を確認する

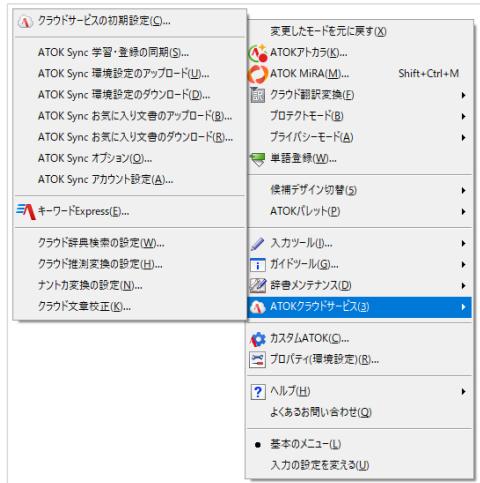
ATOKクラウドサービスは、ATOKでの入力・変換中に役に立つ機能です。

あとから初期設定をし直す場合は、ATOKメニューから行います。

■ ATOKクラウドサービスの設定を確認する

ATOKクラウドサービスの設定は、以下のメニューから確認します。

- タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして、「[基本のメニュー]」を選択したあと「[ATOKクラウドサービス]」を選択します。
※ 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの[メニュー]をクリックして、「[基本のメニュー]」を選択したあと「[ATOKクラウドサービス]」を選択します。
- 設定を確認したいサービスをメニューから選びます。各メニューのダイアログボックスで、チェックボックスがオンになっているか確認します。



ATOKクラウドサービスは、初期設定を行ったあと、利用したいサービスをメニューから選択できます。

■ ATOKキーワードExpressが設定されているか確認する

1. [キーワードExpress] を選択します。
 2. [配信中のキーワードのジャンル] チェックボックスがオンになっているか確認します。
 3. [OK] をクリックします。

■ ATOKクラウド辞典が設定されているか確認する

1. [クラウド辞典検索の設定] を選択します。
 2. [使用可能なATOKクラウド辞典] で該当する電子辞典を選択します。
 3. [ATOKクラウド辞典検索を使用する] チェックボックスがオンになっているか確認します。
 4. [OK] をクリックします。

■ ATOKクラウド推測変換が設定されているか確認する

1. [クラウド推測変換の設定] を選択します。
 2. [変換設定] で地域を選択します。
 3. [ATOKクラウド推測変換を使用する] チェックボックスがオンになっているか確認します。
 4. [OK] をクリックします。

■ ATOKナントカ変換が設定されているか確認する

1. [ナントカ変換の設定] を選択します。
[ナントカトリガー] に使用する読みが表示されているか確認します。
ナントカトリガーが表示されていないときは、[追加] をクリックし、読みを入力して [OK] をクリックします。
 2. [ATOKナントカ変換を使用する] チェックボックスがオンになっているか確認します。

- [OK] をクリックします。

■ クラウド文章校正を起動する

クラウド文章校正は初期設定を行わず利用できます。

- タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、「基本のメニュー」を選択したあと「ATOKクラウドサービス-クラウド文章校正」を選択します。
※ 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの[メニュー] をクリックして、「基本のメニュー」を選択したあと「ATOKクラウドサービス-クラウド文章校正」を選択します。
「ATOKクラウドチェック」のサイトがブラウザーで開きます。
- Just アカウントでログインします。

ATOK Passportを契約したときのJust アカウントを入力します。

ATOK My Passportページの表示を確認する

ATOK My Passportページへは、以下の操作でログインして表示することができます。

- タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、「基本のメニュー」を選択したあと「ヘルプ-ATOK My Passportページにログインする」を選択します。
※ 言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの[メニュー] をクリックして、「基本のメニュー」を選択したあと「ヘルプ-ATOK My Passportページにログインする」を選択します。

ご利用中の端末をATOK My Passportの使用対象に含める場合は、初期設定が必要です。

▶ P.24 ATOK My Passportの設定をする

- [ログイン] をクリックします。



- Just アカウントでログインする画面が表示されたら、Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

ATOK My Passportページが表示されます。

- ページ内容などを確認します。



辞書、電子辞典、省入力データがインストールできたかどうか確認する

専門用語変換辞書やATOK連携電子辞典をインストールした場合、辞書、電子辞典、省入力データが使える状態になっているか確認します。

メモ帳など文字を入力できるアプリケーションを起動し、タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと「[プロパティ (環境設定)]」を選択します。

ATOK プロパティで下記の操作を行って確認し、終わったら「[OK]」をクリックしてATOK プロパティを終了します。

■ 辞書（専門用語変換辞書）

- 「[辞書・学習]」シートを選択します。
- 「[辞書セット一覧]」で該当する辞書セットを選択します。
- 目的の辞書が表示されていて、チェックボックスがオンになっているか確認します。
辞書が表示されていないときは、「[辞書の追加・削除]」をクリックします。
「[追加可能な辞書の一覧]」から辞書を選択して「[追加]」をクリックし、「[OK]」をクリックします。

■ 電子辞典

- 「[電子辞典検索]」シートを選択します。
- 「[日本語辞典]」または「[英語辞典]」に目的の電子辞典が表示されていて、チェックボックスがオンになっているかを確認します。
電子辞典が表示されていないときは、「[辞典の追加・削除]」をクリックします。
「[追加可能な電子辞典の一覧]」から電子辞典を選択して「[追加]」をクリックし、「[OK]」をクリックします。

■ 省入力データ

- 「[入力・変換]」シートを選択します。
- 左側の「[設定項目]」で「[推測変換]」の「[省入力データ]」を選択します。
- 「[省入力データを使用する]」がオンになっていることを確認します。
- 「[省入力データの内容]」に目的の省入力データが表示されていて、チェックボックスがオンになっていることを確認します。

省入力データが表示されていないときは、[追加・削除] をクリックします。

[追加可能な省入力データの一覧] から省入力データを選択して [追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

① 辞書・辞典のインストール

ATOKバリューアップサービスで公開されている辞書や別途販売されている専門用語辞書、ATOK連携電子辞典をご利用いただけます。ATOKをインストールしたあと、各辞書・辞典のインストールを行います。各商品のインストールは、プログラムの画面に従って操作を進めます。

※ ATOK Passportのクラウド辞典は、インストールする必要はありません。

▶ P.29 ATOKクラウドサービスの使い方を確認する

インストールした内容を削除するには

インストールしたあとで、ATOKを削除（アンインストール）することができます。

ATOKを削除（アンインストール）する

ATOKをハードディスクからすべて削除する場合は、次の操作で削除します。

ATOKといっしょにインストールされたATOK Sync APも削除されます。

1. アプリケーションを終了する

▶P.14 操作 1 インストールを始める準備をする

2. ATOKを削除する

① 操作の途中で、[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合

[はい] をクリックします。

1. Windowsのコントロールパネルを表示します。

※表示するには、タスクバー上の [スタート] ボタンをクリックし、[すべて] をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、[Windows ツール-コントロール パネル] を選択します。

2. [プログラムのアンインストール] を選択します。

インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

3. [ATOK] を選択します。

4. [アンインストール] をクリックします。

あとは、画面に従って操作を進めます

ATOKを削除しても、ATOKの環境設定や登録した単語が記憶されているユーザー辞書は、ATOK36フォルダーに残ります。

▶P.19 ATOKの環境設定やユーザー辞書について

① アンインストール中に「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」というメッセージが表示された

[無視] をクリックして、アンインストールを継続します。

① 旧バージョンのATOKを削除する

◆ ATOK 2007以降の場合

Windowsのコントロールパネルからプログラムのアンインストールを実行し（▶P34 操作 2-1.～2.）、削除したい商品を選択して削除します。

辞書・辞典を削除（アンインストール）する

辞書・辞典を導入されている場合、ATOKとは別に削除が必要です。次の操作で削除します。

1. アプリケーションを終了する

▶P14 操作 1 インストールを始める準備をする

2. 辞書・辞典を削除する

1. コントロールパネルから、[プログラムのアンインストール] を実行します。

▶P34 操作 2-1.～2.

2. [ATOK辞書・辞典の削除] を選択して、[アンインストール] をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、操作 3.に進みます。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスの画面

▶P15 操作 2-4.

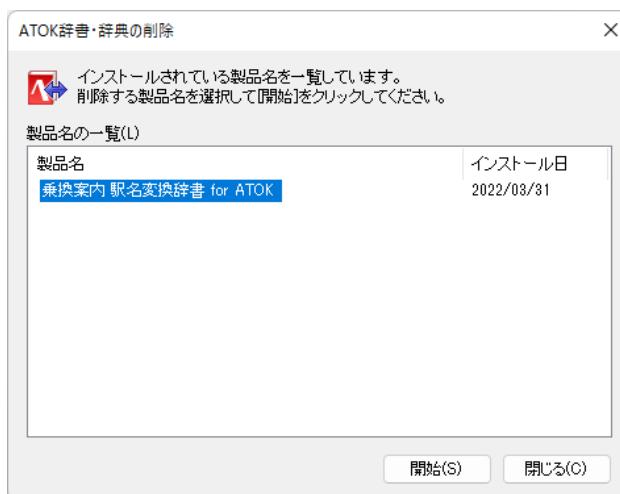
[ATOK辞書・辞典の削除] ダイアログボックスが表示された場合は、操作 4.に進みます。

3. [はい] をクリックします。

[ATOK辞書・辞典の削除] ダイアログボックスが表示されます。

4. 削除したい辞書・辞典を選択して、[開始] をクリックします。

あとは、画面に従って削除の操作を進めます。



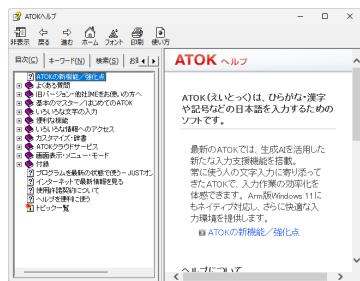
ヘルプを活用する

ヘルプでは、マニュアルに載っていない便利な機能や、困ったときの対処方法も説明しています。ヘルプを見るには、タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[ヘルプ-ATOKのヘルプ]」を選択します。

▶ P.42 ATOKメニューについて

● 目次から探す

【目次】シートで、見たいタイトルをダブルクリックします。



● キーとなることばで探す

【キーワード】シートで、キーとなることばを入力して「[表示]」をクリックします。タイトルの一覧が表示されたときは、見たいタイトルを選択して「[表示]」をクリックします。

マニュアルの本文中に▶[ATOKヘルプキーワード]のように書かれているときは、そのキーワードで探すと、マニュアルの説明に関連するヘルプを見ることができます。

● ヘルプの本文から探す－検索－

ヘルプの「検索」シートを使うと、入力した文字を本文中に含む、ヘルプのタイトルの一覧を表示できます。

① 最新情報はインターネットから

インターネットで、ATOKの最新情報やヘルプにない情報を調べることができます。

※ インターネットで最新情報を見るには、インターネットに接続する必要があります。

◆ ATOKについてのサポート情報

よく寄せられる質問とその答えをQ&A形式でまとめたサポートFAQなどを提供しています。最新のトラブル対処方法などを探すことができます。

※ アップデートモジュールや新しいOSが発売された場合の対応状況や、サポートサービス説明や利用方法、サポートセンターからのお知らせなどもご覧いただけます。

タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[よくあるお問い合わせ]」または「[ヘルプ-サポート情報のWebページ]」を選択します。

文字入力の基本

ATOKをオンにする

ATOKを使って文字を入力するときは、ATOKが使えるようになっているか（オンになっているか）を、デスクトップ画面のタスクバーやATOKパレットで確認します。

● ATOKのオン／オフを切り替える

- 半角／全角キーを押すか、下図の囲みを付けたボタンをクリックして切り替えます。
- ▶ P.39 タスクバーの使い方、P.41 ATOKパレットの使い方
- ※ ATOKスタイルの場合は、変換キーでATOKをオンにすることもできます。

Windowsのタスクバーでの表示

- ATOKがオンの状態



- ATOKがオフの状態



ATOKパレットでの表示

- ATOKがオンの状態



- ATOKがオフの状態



⚠ OSの初期設定では言語バーは表示されません

OSの初期設定では、Windowsの言語バーは表示されません。ATOKの状態は、デスクトップ画面のタスクバーに表示されます。

※ 言語バーを表示する設定にして、言語バーからATOKの入力文字種やモードの変更・確認、ATOKメニューの利用を行えるようにもできます。

- ▶ P.38 Windowsの言語バーを表示する

① タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されない

タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されていない場合は、ATOK以外の日本語入力システムを使う設定になっている場合があります。

タスクバー上の【スタート】ボタンをクリックし、【すべて】をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、【ATOK-ATOKを既定の言語に設定】を選択します。

● タッチ環境でATOKの状態を切り替える

Windowsのタッチキーボードを使用しているときは、ATOKの状態を切り替えるためのボタンが表示されます。

※一定時間たつと表示されなくなります。ATOKのオン／オフを切り替えると、再び表示されます。

※アプリケーションによっては、表示されない場合があります。



■ をタップするとメニューが表示されます。

モードなどを切り替えた場合は、[変更したモードを元に戻す] を選択すると元に戻せます。

各メニューの内容について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶ ATOKヘルプキーワード タッチキーボード

① Windowsの言語バーを表示する

Windowsの言語バーを表示すると、ATOKの入力文字種やモードの変更・確認、ATOKメニューの利用が、言語バーから行えるようになります。

タスクバー上の[スタート]ボタンをクリックして[設定]をクリックします。画面左側で[時刻と言語]をクリックし、画面右側で[入力]をクリックし、[キーボードの詳細設定]をクリックします。[入力方式の切り替え]の[使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する]をオンにします。

② 入力方法（ローマ字入力／カナ入力）の設定を変える

入力方法は、スタートアップツールで選択した、または引き継いだ入力方法によって異なります。あとから入力方法を変更するときは、次の方法で操作します。

1. プロパティ（環境設定）を起動します。
▶ P81 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの[設定項目]で[基本]を選択します。
3. [入力] の[方法]で[ローマ字入力]または[カナ入力]を選択します。
4. [OK] をクリックします。

③ ATOKオフで入力してしまった文字を読み戻す

ATOKオフで入力してしまった場合、入力直後であればShift+変換キーを押すと、入力中の状態（読み）に戻すことができます。

タスクバーの使い方

Windowsのデスクトップ画面のタスクバーでは、ATOKのオン／オフの状態や、入力中の文字種を確認できます。また、入力・変換の設定を変更したり、便利なツールを呼び出すためのメニューを表示したりすることもできます。



① 入力文字種

- ◆ クリックまたはタップ
ATOKのオン／オフが切り替わります。
- ▶ P37 ATOKをオンにする
- ◆ 右クリックまたはタッチ長押し
モード切り替えメニューが表示されます。
- ▶ P42 ATOKメニューについて

② 入力方式のアイコン

ATOKのアイコンが表示されていない場合は、クリックまたはタップしてATOKを選択します。

⚠ ATOKメニュー・言語バー・ATOKパレットを使った設定の変更は、編集中の文書にだけ有効です

文書を切り替えたときや、アプリケーションを終了したときは、変更した内容が無効になります。

引き続き有効にするときは、プロパティ（環境設定）で設定を変更します。

プロパティ（環境設定）の起動方法

▶ P81 使いやすい設定に変更する

① OSの初期設定では、言語バーは表示されません

言語バーを表示したい場合は、Windowsの
[設定] から行ってください。

▶ P38 Windowsの言語バーを表示する



言語バーの使い方

言語バーを表示しているときは、言語バーで、現在入力できる文字の種類など、文字の入力・変換に必要な情報を確認できます。

ボタンをクリックして、入力・変換の設定を変更したり、便利なツールを呼び出すためのメニューを表示したりすることもできます。

※OSの初期設定では言語バーは表示されません。

▶P.38 Windowsの言語バーを表示する

※Windows 11では、OSの仕様により言語バーを最小化（タスクバー結合）することはできません。デスクトップ上でフロート表示の状態でお使いください。

例えば、言語バーが次のように表示されているときは、入力する文字の種類がひらがな（[あ]）で、入力方法がローマ字入力（[R]）です。

▶ATOKヘルプキーワード 言語バーのボタン



① 言語バーに文字パレットなどのツールを起動するボタンを表示する

言語バーには、文字パレット、手書き文字入力、クリックパレット、日付パレット、プロパティ（環境設定）、単語登録、辞書ユーティリティを起動するボタンを表示することができます。ATOKのオン／オフや入力文字種の状態を表す「ATOKステータス」を表示することもできます。

言語バーにATOKのツール類を表示する場合は、言語バーの [オプション] をクリックして表示されるメニューで、表示したいツール名を選択し、メニューの左端にチェックマーク（✓）を付けます。入力文字種など、表示されているボタンを非表示にすることもできます。言語バーを表示したい場合は、Windowsの「設定」から行ってください。

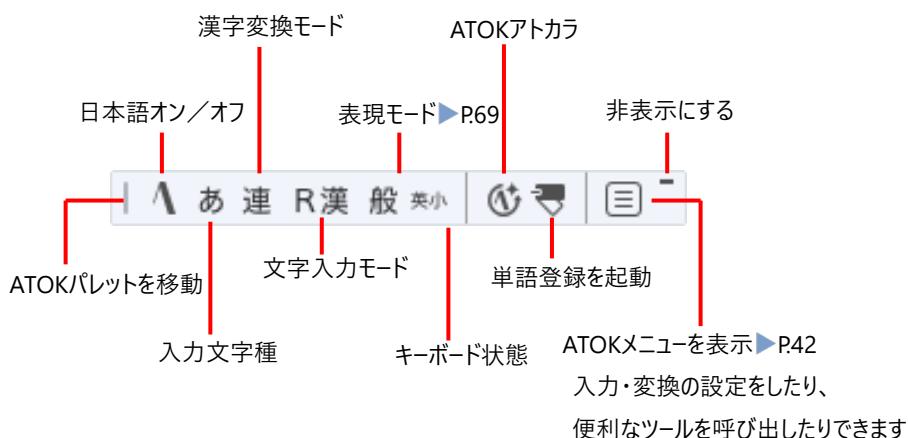


ATOKパレットの使い方

ATOKパレットでは、現在入力できる文字の種類など、文字の入力・変換に必要な情報を確認できます。

例えば、ATOKパレットが次のように表示されているときは、入力する文字の種類がひらがな（〔あ〕）で、入力方法がローマ字入力（〔R〕）です。

▶ATOK ヘルプキーワード ATOK パレットの表示



① ATOKパレットに表示する内容をカスタマイズする

ATOKパレットに表示する機能ボタンは、追加・削除したり、並び替えたりして、使いやすいうようにカスタマイズすることができます。プロパティ（環境設定）の「[パレット]」シートで、表示する機能や並びを設定します。

※「[パレット]」シートは、ATOKメニューの「[ATOKパレット-カスタマイズ]」を選択しても表示できます。

② ATOKパレットを非表示にする

インストール直後の設定では、ATOKパレットは自動的に表示される設定になっています。

ATOKパレットを使用しないなど、非表示^{*1}にするときは、ATOKパレットの右上部にある「[-]」ボタンをクリックします。

*1 テキストサービスを使用しない設定のときは、トレイに格納されます。再度ATOKパレットを表示したい場合は、ATOKメニューを表示し、「[ATOKパレット-横型表示／縦型表示]」を選択します。

※日本語入力できない状態のときは、ATOKパレットは自動的に非表示になります。

① ATOKパレットと言語バーの両方が表示される

Windowsの設定で [使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する] がオンのときは、ATOKパレットと言語バーの両方が表示されます。

- ◆ ATOKパレットだけを表示する場合

Windowsの設定で [使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する] をオフにします。

- ◆ 言語バーだけを表示する場合

ATOKパレットの右上部にある [-] ボタンをクリックします。

ATOKメニューについて

入力や変換の状態を変更したり、各ツールを起動したりするときは、ATOKメニューを使います。

● ATOKメニューの表示方法

ATOKメニューは、次の方法で表示します。

- ◆ タスクバーから

デスクトップ画面のタスクバーの [あ] *1 を右クリックまたは長押しして表示されるメニューから、 [ATOKメニュー] をクリックまたはタップする

*1 入力中の文字種によって表示されるアイコンは異なります。

- ◆ 言語バーから

言語バーを表示している場合は、言語バーの  をクリックまたはタップする

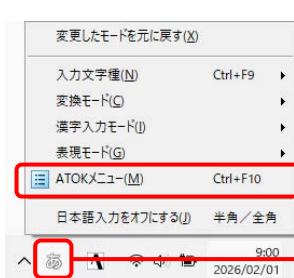
- ◆ ATOKパレットから

ATOKパレットの  をクリックする

- ◆ キーボードから

ATOKがオンの状態で、Ctrl + F10キーを押す

・タスクバー



・言語バー



・ATOKパレット



ここを右クリックまたはタッチ長押し

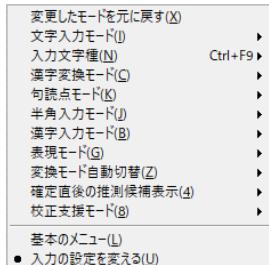
● ATOKメニューのメニュー構成

ATOKメニューは、大きく次の2つのメニューに分かれています。
目的や用途に合わせて、メニュー自体を切り替えて使うことができます。
※本書では、タスクバーを基本に説明しています。

・基本のメニュー



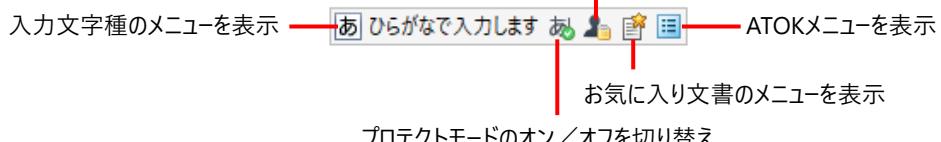
・入力の設定を変える



● カーソル位置の入力モード表示

文字入力中のカーソル位置には、入力モードの情報やボタンを表示することができます。
表示されたボタンを使って、入力文字種を切り替えたり、ATOKメニューを表示したりできます。タスクバーや言語バーなどにポインターを移動する手間が省け、視線を移すことなく操作できます。
なお、校正支援機能による指摘を見逃して確定した場合は、見逃した校正支援の指摘があることを通知するアイコンも表示されます。通知アイコンをクリックして校正支援 見逃し指摘ビューアを表示し、指摘内容を確認できます。
▶ P.67 不適切な表現・誤りを指摘する
※ プロテクトモード・プライバシーモードは、それぞれのモードがオンのときに表示されます。ATOKメニューでオン／オフを切り替えます。
▶ ATOKヘルプキーワード プロテクトモード、プライバシーモード

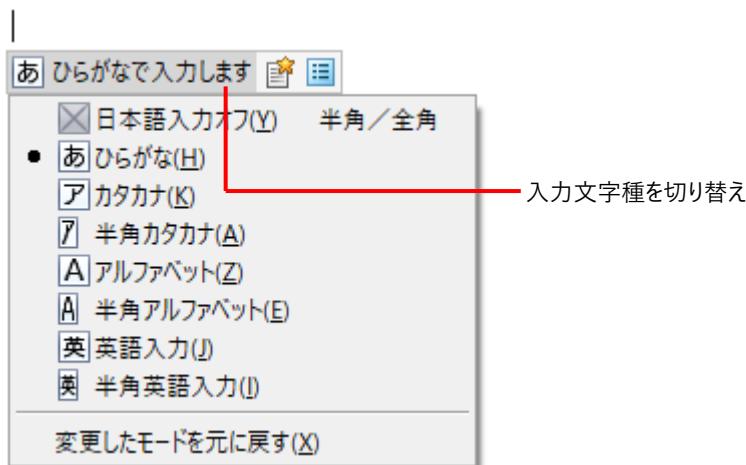
プライバシーモードのメニューを表示



プロテクトモードのオン／オフを切り替え

● 入力文字種をクリックした画面

※ 表示されるボタンは状態によって異なります。



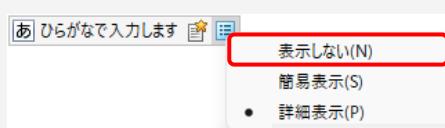
● 校正支援の指摘見逃し通知が表示された画面

※ 校正支援機能による指摘がある場合にだけ表示されます。



① カーソル位置に、入力モードやボタンを表示しないようにする

表示されている入力モードやボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから「表示しない」を選択します。



※ もう一度表示するようにしたいときは、プロパティ（環境設定）の「入力・変換」シートで、「表示」を選択し、「カーソル位置に入力モードを表示」で「簡易表示」または「詳細表示」を選択します。

① スタート画面からツールを起動する

スタート画面からATOKのツールなどを起動したいときは、ATOKツールメニューを使用します。

※起動すると、デスクトップ画面に切り替えります。

ATOKツールメニューを起動するには、タスクバー上の【スタート】ボタンをクリックし、[すべて]をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、[ATOK- ATOKツール]を選択します。

起動できるツールの種類について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶ ATOKヘルプキーワード起動



② ATOKからのお知らせや提案を通知する – ATOKアトカラ –

ATOKに関するお知らせや、入力環境をよりよくする設定があるときは、ATOKアトカラから提案が通知されます。

入力・変換中など、普段見逃しがちな校正支援などの指摘や提案を、あとから見直すことができます。

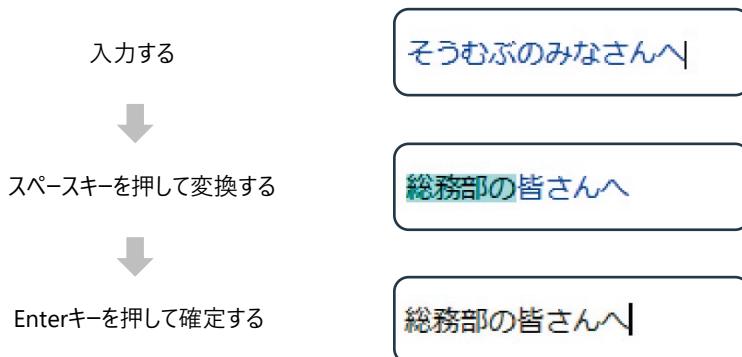
ATOKアトカラの通知から、詳細な情報を確認したり、設定を変更したりすることもできます。

▶ ATOKヘルプキーワード ATOKアトカラ



漢字かな交じり文を入力する

ひらがな、漢字やカタカナが交じった文を入力するときは、次の流れで操作します。



① 入力中の文字を取り消す

Escキーを押すと、入力中のすべての文字を削除できます。

入力中の文字のうち、1文字だけ取り消すときは、それぞれ次のキーを押します。

- ◆ カーソルの前（左横）の文字を取り消す
Backspaceキー
- ◆ カーソルのうしろ（右横）の文字を取り消す
Deleteキー

① 変換前の状態に戻す

スペースキーを押して変換したあとでまちがいに気が付いたときは、Backspaceキーを押すと、変換前の状態に戻ります。

① ほかの候補を選択する

スペースキーを押して変換したあと、続けてスペースキーを押します。

ほかに変換候補があれば候補ウィンドウが表示されるので、スペースキー・↑キーを押してほかの候補を選択し、Enterキーを押して確定します。

▶ P48 候補ウィンドウの使い方

文節の区切りを直す

文節の区切りがまちがえていると、正しいことばに変換されません。このときは、次の流れで操作して、文節の区切りを直します。

- 私は、今日は医者に行きました。
- ↓ ↓キーを押して、正しく変換された文節を確定する
- 私は、今日は医者に行きました。
- ↓ ←→キーを押して、文節の区切りを変える
- 私は、きょうはいしやにいきました。
- ↓ スペースキーを押して変換しなおす
- 私は、今日歯医者に行きました。
- ↓ Enterキーを押して確定する
- 私は、今日歯医者に行きました。

① 縦書きのときのキー操作

一太郎などのアプリケーションを使って縦書きの文書で文字を入力するときは、使うキーが横書きのときと異なります。

- ◆ 文節を確定する ←キー
- ◆ 文節の区切りを直す ↑・↓キー

① 候補ウィンドウで選択する

文節を区切り直して変換したときの結果を、候補ウィンドウから選択することもできます。

▶ P48 候補ウィンドウの使い方

① ↓キーでの確定、←→キーでの文節の区切り直しができない

スタートアップツールでWindows付属の日本語入力システム（Microsoft IME）風のキー操作にする設定にしたときは、↓キーでの確定や、←→キーでの文節の区切り直しができません。

マニュアルで説明しているキーで操作するときは、プロパティ（環境設定）で設定を変更する必要があります。

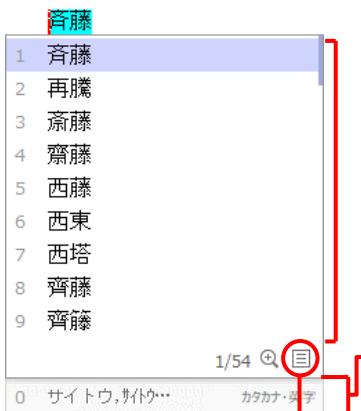
▶ ATOKヘルプキーワード 区切り直しができない

候補ウィンドウの使い方

スペースキーを押して変換したあと続けてスペースキーを押すと、ほかの候補が表示されます。候補の一覧が表示されたものを候補ウィンドウと呼びます。

▶ ATOKヘルプキーワード 候補ウィンドウ

候補ウィンドウには、辞書に登録されている単語のほか、カタカナ・英字の候補など、ほかの変換機能の候補や文節を区切り直して変換したときの結果も表示されます。



候補の1～9番には、辞書に登録されている単語や一時文書学習（ATOKインサイト）で追加された単語が表示されます。

インストール直後の設定では、基本辞書セットのほか、人名変換辞書セットとアクセサリ辞書セットの単語も表示されます。

- ▶ P49 スペースキーで変換できる辞書セットを変更する
- ▶ P49 一時文書学習候補を表示しないようにする
- ▶ P66 辞書セットと辞書



変換候補が多い名前などを変換する場合、をクリックして表示されるメニューから、先頭や末尾が同じ文字で並べ替えたり、部首で並べ替えたりして、目的の漢字を探しやすくすることもできます。

候補の0番には、カタカナ・英字の候補など、ほかの変換機能の候補や文節を区切り直して変換した結果が表示されます。0キーを押すと、先頭の変換機能の候補一覧が表示され、0キーを押すたびに表示される候補が切り替わります。

▶ P50 0キーで切り替えられる候補



カタカナ・英字

◆ 候補の選択と確定

スペースキー・↑キーを押してほかの候補や、文節を区切り直して変換した結果を選択し、Enterキーで確定します。

各候補の左側に表示されている番号（1～9）のキーを押しても、確定できます。

◆ 前後の候補群を表示

変換キー／Shift+変換キー^{＊1}で前後の候補群を表示します。

^{＊1} MS-IMEスタイルの場合はPageDown／PageUpキーまたはShift+↓／↑キーです。

① スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

プロパティ（環境設定）の【辞書・学習】シートで、各辞書セットの【スペース変換で候補に追加する】で設定を変更します。

① 一時文書学習候補を表示しないようにする

プロパティ（環境設定）の【入力・変換】シート-【変換補助】で、【一時文書学習候補を表示する】をオフにします。

▶ [ATOKヘルプキーワード ATOKインサイト](#)

① 候補ウィンドウをはっきりした色に変更する

タスクバーの【あ】を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして【基本のメニュー】を選択したあと、【候補デザイン切替】からデザインの種類を選択します。【クラシック】を選ぶとATOK 2015以前のデザインに変更できます。ピンクや黄色などカラフルな色を選択すると、画面が明るくなります。Windows 11のダークモードに適したデザインも選択できます。

▶ [P.42 ATOKメニューについて](#)

標準

合言葉		
1 合い言葉		>
2 合言葉		> 
3 合いことば		
4 あいことば		>
5 password	英字	《合い言葉》
6 slogan	英字	《合い言葉》
0 アイコトバ、アイコトバ…		カタカナ・英字
2/6		

クラシック

合言葉		
1 合い言葉		>
2 合言葉		> 
3 合いことば		
4 あいことば		>
5 password	英字	《合い言葉》
6 slogan	英字	《合い言葉》
0 アイコトバ、アイコトバ…		カタカナ・英字
2/6		

候補ウィンドウの文字が小さくて見づらいときは、100%～400%まで8段階に拡大して表示することができます。

✓ 100%(0)
110%(1)
120%(2)
130%(3)
140%(4)
150%(5)
175%(6)
200%(7)
400%(8)

① 0キーで切り替えられる候補

候補ウィンドウの0番には、次のような候補が表示されます。

プロパティ（環境設定）の「[入力・変換]」シートの「[候補ウィンドウ-0キー一切替]」で、表示する候補や表示される順番を設定することもできます。

▶P.81 使いやすい設定に変更する

訂正候補	校正支援で指摘対象の誤りがある場合に訂正候補が表示されます。
スペルチェック候補	誤った英単語の可能性がある場合に、スペルチェック候補が表示されます。
日付形式変換候補	日付や時刻を入力したときに、異なる形式の日付や時刻が表示されます。
郵便番号付き住所	郵便番号から住所を変換したときに、郵便番号付きの住所が表示されます。
別文節区切り	文節を区切り直して変換したときの結果が表示されます。
変換候補	推測候補からTab/↓キーで候補ウィンドウを表示したときに、通常の変換候補に切り替えます。
推測候補	以前に入力した文字列や省入力データに登録されている文字列が表示されます。 <p>▶P.70 入力しようとしている文字列を推測して表示する ※推測候補は、初期設定ではオフです。表示したい場合はオンにします。</p>
カタカナ・英字	全角/半角のカタカナや英字、ひらがなに変換された候補などが表示されます。
連想変換候補	候補変換中のことばの表記から連想される類義語や言い換え表現が表示されます。 <p>▶P.73 別の言い回しや表現にする－連想変換「類語ファインダー」</p> <p>※「[入力・変換]」シートの「[連想変換]」で「[候補ウィンドウで表示する]」をオフにしている場合は、「[連想変換候補]」をオンにしても、候補ウィンドウの0番には表示されません。</p>
ATOKダイレクト検索結果	ATOKダイレクトのプラグインがインストールされている場合に、ATOKダイレクトの候補が表示されます。 <p>▶ATOKヘルプキーワード ATOKダイレクト ※ATOKダイレクトをインストールしただけでは、候補ウィンドウに表示されません。プロパティ（環境設定）で設定を変更してください。 自動検索に対応しているプラグインだけ表示できます。</p>

タッチ環境での候補ウィンドウの表示

タッチキーボードを使用しているときは候補ウィンドウの表示が異なります。

● タッチキーボードの表示

厚い	熱い	あつい	アツイ [全角] カタカナ	アツイ [半角] カタカナ	A T U I [全角] 英字	atui [半角] 英字	Atui [変換] >	変換	×
暑い	篤い	アツい [全角]	アツい [半角]	a t u i [全角] 英字	A t u i [全角] 英字	ATUI [半角] 英字	温井		

タッチキーボードで文字を入力すると、候補ウィンドウに推測候補・変換候補の両方が混在する状態で表示されます。

変換 をタップすると、入力した文字が変換され、変換候補だけに絞り込まれた状態で表示されます。候補ウィンドウでの操作は次のとおりです。

- ◆ 変換する

変換 をタップします。

※ 候補が表示されている状態では、スペースキーをタップしても変換できません。スペースキーをタップすると、次の候補に移動します。

- ◆ 確定する

目的の候補をタップします。

または、スペースキー や **変換** をタップして目的の候補に反転カーソルを合わせて、Enterキーをタップします。

- ◆ 確定する前の状態に戻す

戻 をタップします。

- ◆ 候補をスクロールする

候補ウィンドウ上で左フリック／右フリックします。

- ◆ 多くの候補を表示する

候補ウィンドウ上で上フリックします。元に戻すときは下フリックします。

- ◆ 情報ウィンドウを表示する

同音語や電子辞典の情報を表示したい候補を長押しして表示されるメニューから、[電子辞典検索] を選択します。

※ 同音語情報や電子辞典に説明のない単語の場合は、メニューは表示されません。

- ◆ 入力を取り消す

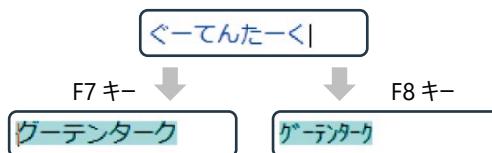
× をタップします。

いろいろな文字の入力

▶ ATOKヘルプキーワード カタカナ、記号

カタカナを入力する

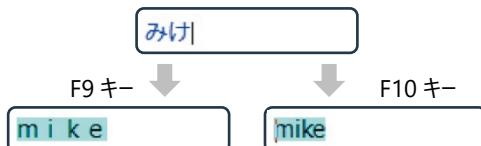
ことばによっては、漢字に変換するのと同じように、スペースキーを押すだけでカタカナに変換できます。スペースキーを押してもカタカナに変換できないときは、F7キー（全角）またはF8キー（半角）を押します。F7・F8キーで変換・確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。



アルファベットを入力する

F9キー（全角）またはF10キー（半角）を押します。

F9・F10キーで変換・確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。



それぞれ、続けてF9・F10キーを押すと、「mike」→「MIKE」→「Mike」の順に、大文字／小文字が変わります。

⚠ カナ入力でアルファベットを入力するときはカタカナひらがなキーを押してから入力します

もう一度カタカナひらがなキーを押すと、元のモードに戻ります。

※ MS-IMEスタイルの場合は、Caps Lock英数キーです。

① 入力モードの戻し方がわからない

半角／全角キーを2回押して日本語入力のオン／オフを切り替えると、元の入力モードに戻ります。

※ タッチキーボードの場合は、候補の一覧にカタカナやアルファベットの候補も表示されるので、目的の候補を選択して確定します。

① 半角のアルファベット・数字・記号を続けて入力する

キーボード上の文字や数字・記号を半角で入力するモード **半角入力** にしておきます。

1. タスクバーの [あ] を右クリックして表示されるメニューから [漢字入力モード-半角入力] を選択します。

※ 言語バーまたはATOKパレットをお使いの場合は、[R] / [カ] をクリックし、表示されるメニューから [半角入力] を選択します。

2. 文字を入力します。

大文字／小文字を変えるときは、Shiftキーを押したまま文字キーを押します。

3. 入力が終わったら、タスクバーの [半] をクリックして表示されるメニューから [漢字入力モード-漢字入力] を選択します。

※ 言語バーまたはATOKパレットをお使いの場合は、[半] をクリックして表示されるメニューから [漢字入力] を選択します。

元の入力モード（ローマ字入力またはカナ入力）に戻ります。

※ ATOKスタイルの場合は、変換キーで漢字入力と半角入力を切り替えることもできます。

① 一時的にアルファベットを入力するモードに変える

Caps Lock英数キーを押すと、一時的にアルファベットを入力する英語入力モードになります。もう一度Caps Lock英数キーを押すと、元のモードに戻ります。

※ ローマ字入力では、Shiftキーを押したまま文字キーを押すと、一時的に英語入力モードになります。文字を確定するか、もう一度Shiftキーを押すと、元のモードに戻ります。

また、英語入力モードにすると、自動的に英単語や英語の文例の推測候補が表示されます。

① 英単語・英文を効率よく入力する

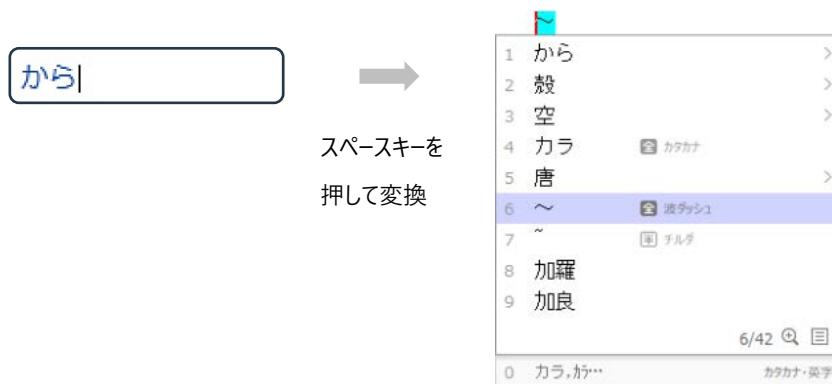
▶ **ATOKヘルプキーワード** 英単語

記号を入力する

① ② ③ 〒 kg キロなどの記号を入力するには、読みを入力して変換する方法と、文字パレットやクリックパレットで記号の一覧から選択して入力することができます。

● 読みを入力して記号に変換する

記号の読みを「から」「ゆうびん」「さんかく」と入力し、スペースキーを押して変換すると、「～」「〒」「△」などの記号が入力できます。



読み	記号
まる	○ ● ○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	□ ■ ◇ ◆
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
ゆうびん	〒
かっこ	「」『』【】“”《》
やじるし	→← ↑ ↓
てん	、 ,

読み	記号
かぶ	(株)
でんわ	TEL
どる	ドル \$
きろ	キロ km kg
せんち	セン cm
ぱーせんと	ペント %
へいべい	m̄
ふとうごう	< > ≦ ≧ ≪ ≫ ≠
あるふあ	A α

※ 上記以外の読み・記号については、ヘルプをご覧ください。

▶ ATOKヘルプキーワード 記号一覧

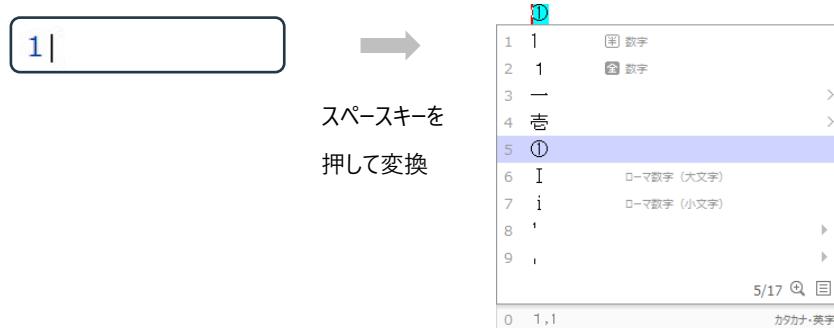
◆ キーボードや文字パレットから、ドイツ語・フランス語・発音記号が入力できます。

▶ ATOKヘルプキーワード 独仏文字

① F10キーで記号入力モードにならない

▶ P.13 記号入力モード（F10キー）の利用

- ①～⑩の丸数字やローマ数字は、数字を入力してスペースキーを押し、候補ウィンドウから選択します。



⑪～⑯を入力する

⑪～⑯の丸数字も対応するフォントがあれば、数字を入力してスペースキーを押して入力できます。

ただし、プロパティ（環境設定）の【校正支援】シートの【環境依存文字】で、[JIS X 0208外の文字を含む候補の指摘・抑制]を[しない]または[指摘する]に設定します。

- キーボード上の記号を入力してスペースキーを押すと、似ている記号に変換できます。例えば、「<」は「≤」「≤」に、「=」は「≠」「≡」「≒」に、それぞれ変換できます。

▶ ATOKヘルプキーワード 似ている記号

- 記号辞書を使って、「m³」「€」「ℓ」などいろいろな記号に変換することができます。

▶ P.65 記号を入力する - 記号辞書

記号の一覧から選択して入力する

▶ P.58 文字パレット

▶ P.61 クリックパレット

テンキーから入力した数字・記号をいつも半角にする

キーボード右側にある、電卓のようなキーをテンキーといいます。

- プロパティ（環境設定）を起動します。
▶ P.81 使いやすい設定に変更する
- 【入力・変換】シートの【設定項目】で【入力補助】を選択します。
- 【テンキーからの入力を必ず半角にする】をオンにします。
※【確定文字で入力する】もオンになります。テンキーから入力したあと変換したい場合はオフにしてください。
- 【OK】をクリックします。

難しい漢字を入力する

入力したい漢字の読みがわからないときや、候補ウインドウに表示されない特殊な漢字を入力するときは、文字を手書きしたり、文字パレットを使って部首や画数から目的の漢字を探したりして入力します。人名辞書を使って、難しい読みや漢字の名前に変換することもできます。

● 手書きで文字を入力する

▶P.60 手書き文字入力

● 部首や画数から漢字を探して入力する

▶P.58 漢字を検索する

● 辞書を利用して、難しい読みや漢字の名前に変換する

▶P.62 人の名前を入力する –人名辞書

① JIS X 0208（第一・第二水準漢字）外の漢字を入力する

プロパティ（環境設定）の〔校正支援〕シートの〔環境依存文字〕で、〔JIS X 0208外の文字を含む候補の指摘・抑制〕を〔しない〕または〔指摘する〕に設定します。

顔文字を入力する

(^_^;)などの顔文字は、読みを入力して変換するか、クリックパレットで顔文字の一覧から選択して入力します。

● 読みを入力して顔文字に変換する

▶P.65 顔文字を入力する –記号辞書

● 顔文字の一覧から選択して入力する

▶P.61 クリックパレット

外字を入力する

Windowsの外字エディターで作成した外字は、文字パレットの〔記号・よく使う文字〕シート – [外字] から入力します。

▶P.58 文字パレット

▶ATOKヘルプキーワード 外字

日付を入力する

● キーワードから変換して入力する

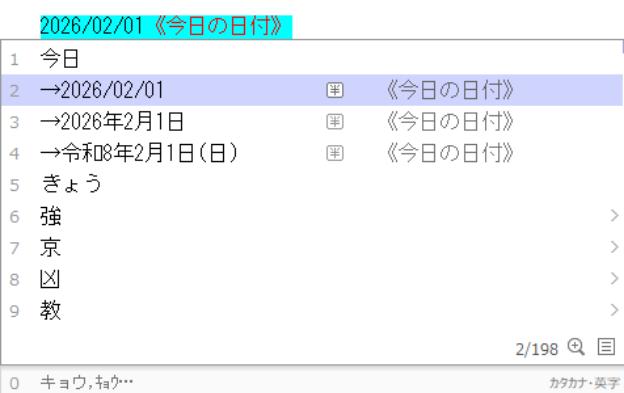
「今日（きょう）」・「月曜日（げつようび）」・「今（いま）」などのキーワードを入力して、日付や時刻に変換できます。

※ 変換候補として表示する日付や時刻の形式は、プロパティ（環境設定）で変更することができます。

▶ ATOKヘルプキーワード 日付の形式

きょう

↓ スペースキーを押して変換



いま

↓ スペースキーを押して変換



● 日付入力パレットから入力する

▶ P.61 日付入力パレット

ほかにも現在の日時を入力しようとしたときに推測して表示したり、入力した日付を別の形式に変換したりするなど、日付入力のときに便利な機能があります。

▶ ATOKヘルプキーワード 日付の入力

入力を補助するパレット

難しい漢字や記号などをスムーズに入力するために、いろいろなパレットを用意しています。

文字パレット

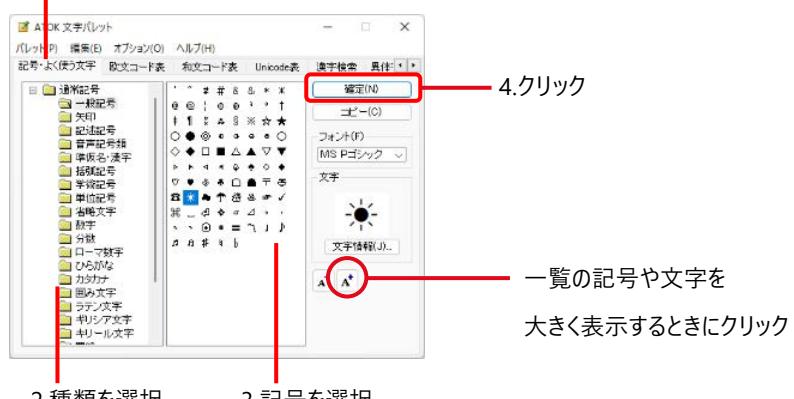
キーボードから入力しづらい記号や、通常の変換候補で探すことのできない漢字を入力することができます。[漢字検索] では部首や画数から漢字を探すことができ、部首の名前がわからなくても、一覧から選択することができます。

タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[入力ツール-文字パレット] を選択して起動します。

▶ ATOKヘルプキーワード 文字パレット

● 記号を入力する

1. [記号・よく使う文字] シートを選択



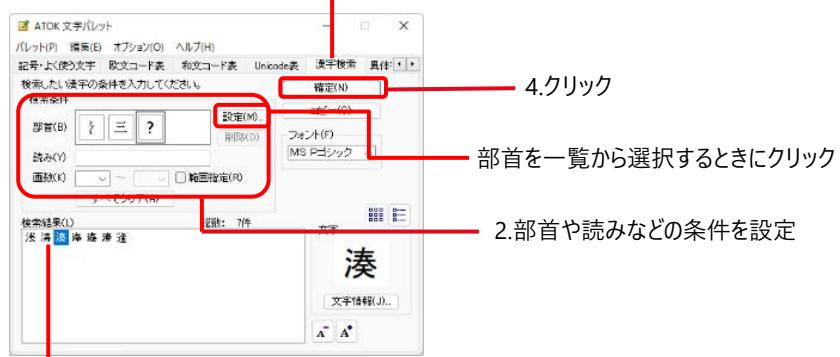
2.種類を選択

3.記号を選択

※上記の操作 1.~4.を行うと、カーソル位置に記号を入力できます。

● 漢字を検索する

1. [漢字検索] シートを選択



3.該当する漢字を

※上記の操作 1.~4.を行うと、カーソル位置に記号を入力できます。

⚠ Windows ストアアプリ上には直接入力できません

[コピー] をクリックし、アプリ上で貼り付けます。

ⓘ 文字パレットをいつも手前に表示する

文字パレットの [オプション-最前面表示] を選択し、[最前面表示] にチェックマーク (✓) が付いた状態にします。文字パレットから文字を続けて入力する場合に便利です。

ⓘ 特殊記号 (Symbolフォントの記号) が正しく入力できない

▶ ATOKヘルプキーワード Symbolフォントの記号

ⓘ [検索結果] に「・」が表示される

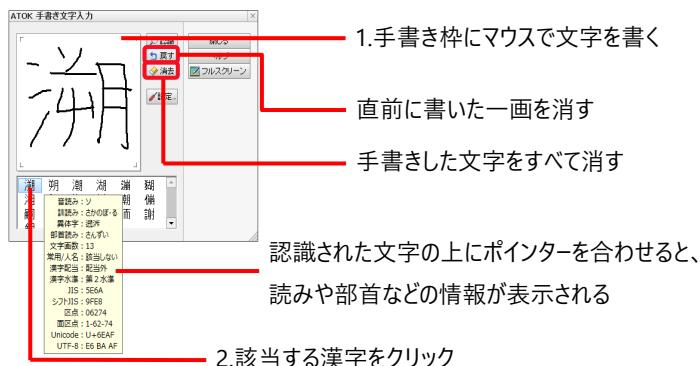
お使いの環境に、文字を表示するのに必要なフォントがインストールされていません。正しく表示するには、Unicodeに対応したフォントをインストールする必要があります。文字パレットの [フォント] で、「MS P明朝」や「MS Pゴシック」などのMSフォントを選択するか、インストールしたUnicode対応フォントを選択します。

※ 「MS P明朝」や「MS Pゴシック」を選択していても、フォントがないところは「・」で表示されます。

手書き文字入力

読み方のわからない漢字や記号は、マウスで手書きして入力します。タスクバーの「あ」を右クリックし、**[ATOKメニュー]** をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「[入力ツール-手書き文字入力]」を選択して起動します。

▶ ATOKヘルプキーワード 手書き文字入力



⚠ 文字を手書きするときは、次の点に注意します

- ◆ 楷書体で書く
- ◆ 文字の特徴を残すように書く
- ◆ 記号がうまく認識されない場合は、書き方を変えてみる

① 入力したい文字が検索できない

手書き文字入力で認識できない文字は、文字パレットの漢字検索を利用してください。

▶ P.58 文字パレット

① [検索結果] に「・」が表示される

▶ P.59 「[検索結果] に「・」が表示される」の対処方法を参考に、手書き文字入力の「[設定]」をクリックしてフォントを選択します。

クリックパレット

マウスだけでひらがな・カタカナ・英数・記号・日付・顔文字の入力や、変換・削除することができます。タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「[入力ツール-クリックパレット]」を選択して起動します。

▶ATOKヘルプキーワード クリックパレット

必要に応じてシートを切り替える



① ボタンを押したままにしたとき連続入力しないようにする

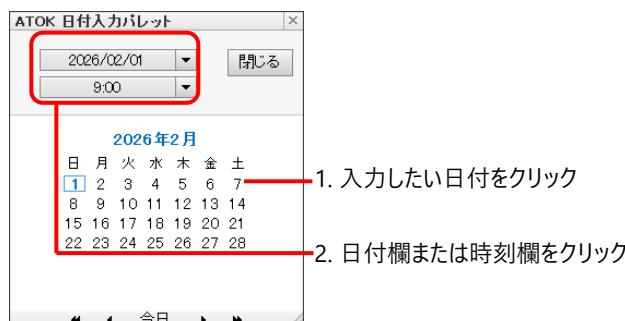
画面右上の[国] [オプションメニュー表示]をクリックし、「ボタンを押したままにしたとき連続入力」を選択して、チェックマーク(✓)が付かない状態にすると、クリックパレットのボタンを押したままにしたときも同じ文字が連続入力されず、1文字だけ入力されます。

日付入力パレット

カレンダー上で日付を確認しながら、日付や現在の時刻をマウス操作で入力できます。

タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「[入力ツール-日付入力パレット]」を選択して起動します。

▶ATOKヘルプキーワード 日付入力パレット



変換・確定に便利な機能

専門用語変換辞書

F2・F3・F4キーを押すと、専門用語変換辞書を使って、便利な変換ができます。

▶ ATOKヘルプキーワード 専門用語変換辞書

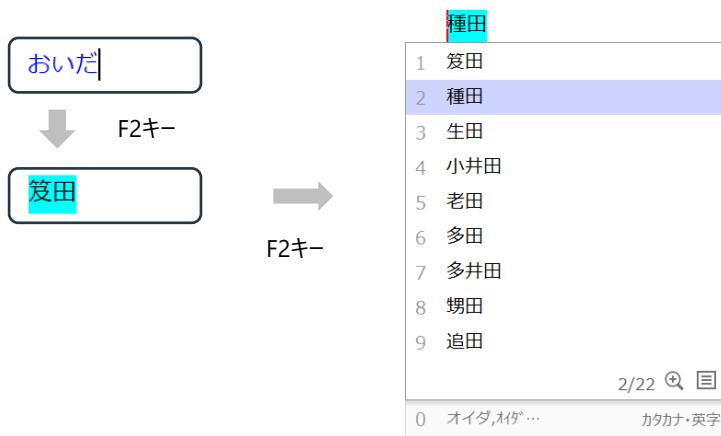
※ F2・F4キーに割り付けられている辞書は、スペースキーで変換したときも候補ウィンドウに表示されます。

※ タッチキーボードの場合は、候補の一覧に専門用語変換辞書の単語も表示されるので、目的の候補を選択して確定します。

▶ P.49 スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

● 人の名前を入力する -人名辞書

読みを入力し、F2キーを押します。



● 郵便番号から住所を入力する -郵便番号辞書

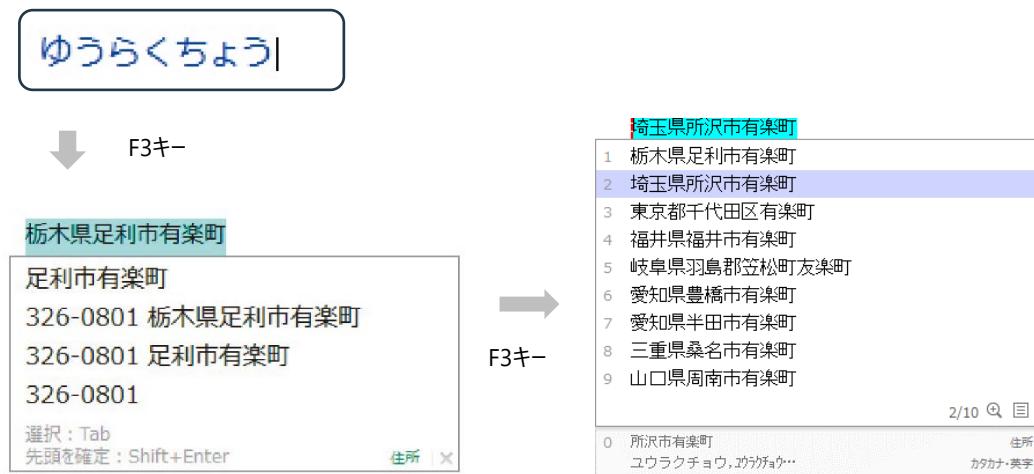
郵便番号を入力し、F3キーを押します。

郵便番号を7桁で入力するときは、3桁目を入力したあとに-（マイナス記号）を入力します。読みを入力し、F2キーを押します。



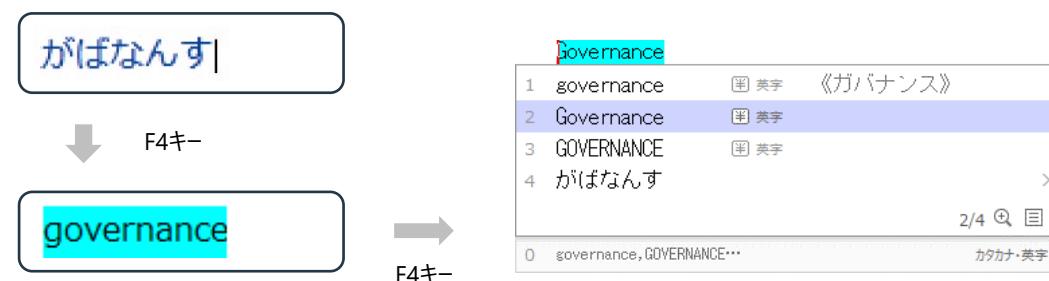
● 町名から住所を入力する - 町名住所変換辞書

町名を入力し、F3キーを押します。

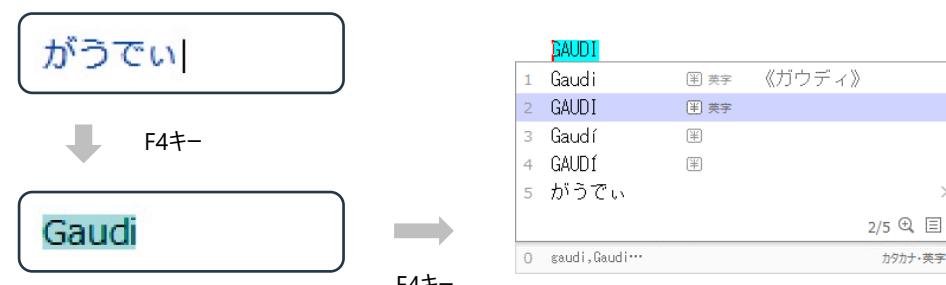


● つづりのわからない英単語を入力する - カタカナ語英語辞書

英単語の読みを入力し、F4キーを押します。続けてF4キーを押すと、つづりの大文字／小文字が変わります。



符号付きのアルファベットを含む英単語も入力できます。



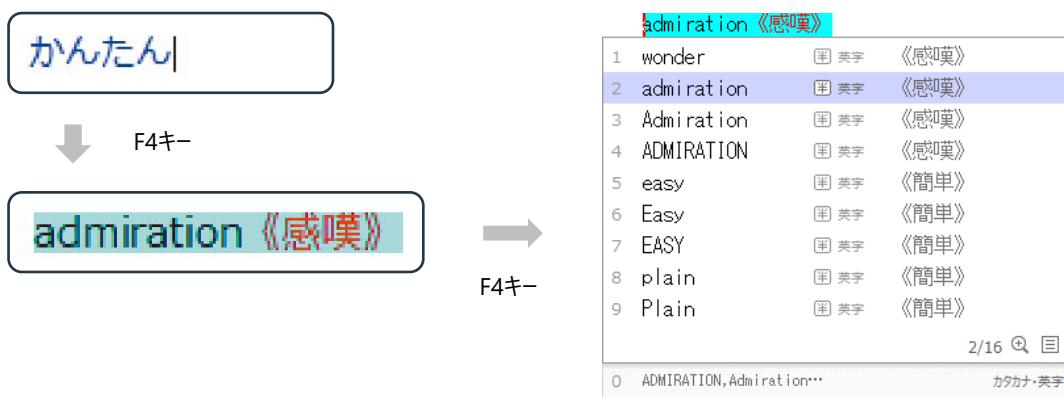
※ 入力したい文字が含まれていないフォントでは入力できません。

※ Unicodeに対応していないアプリケーションには正しく入力できない場合があります。

※ 符号付きのアルファベットを含む英単語を入力するには、プロパティ（環境設定）の【校正支援】シートの【環境依存文字】で、【JIS X 0208 外の文字を含む候補の指摘・抑制】を【しない】または【指摘する】に設定します。

● 日本語の意味から英語を入力する -日本語英語辞書

英単語の日本語の意味を入力し、F4キーを押します。



英語入力モードのときは、英単語の日本語の意味をローマ字で入力すると、推測候補に英単語が表示されます。

1. Caps Lock英数キーを押すか、タスクバーの「[あ]」を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから「[入力文字種-半角英字／全角英字]」を選択して、英語入力モードに切り替えます。
※言語バーをお使いの場合は、言語バーの「[あ]」をクリックして表示されるメニューから「[半角英字]」または「[全角英字]」を選択します。
2. 入力したい英単語の、日本語の意味をローマ字で入力します。

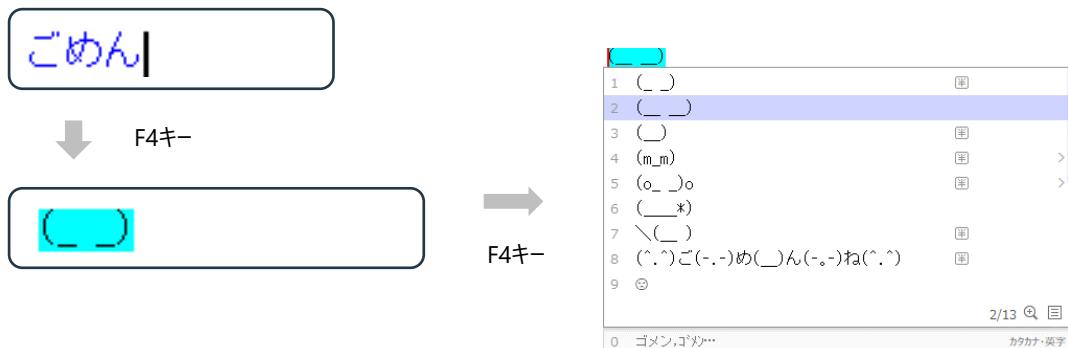


3. Tabキーまたは↑・↓キーを押して目的の英単語を選択します。
4. Enterキーで確定します。

● 顔文字を入力する-記号辞書

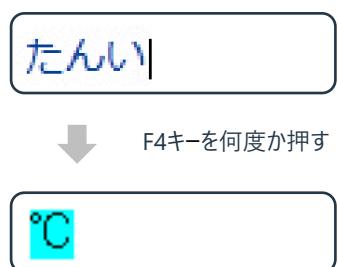
顔文字の読みを入力し、F4キーを押します。

▶ ATOKヘルプキーワード 顔文字の読み

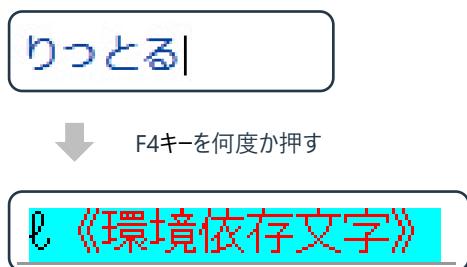


● 記号を入力する -記号辞書

記号の読みを入力し、F4キーを何度か押します。



Unicode固有の記号も入力できます。



※ 入力したい文字が含まれていないフォントでは入力できません。

※ Unicodeに対応していないアプリケーションには正しく入力できない場合があります。

※ プロパティ（環境設定）の【校正支援】シートの【環境依存文字】で、【JIS X 0208 外の文字を含む候補の指摘・抑制】を【しない】または【指摘する】に設定します。

① 辞書セットと辞書

変換に使用する複数の辞書の組み合わせを辞書セットと呼びます。

インストール直後は、各辞書セットにそれぞれ次の辞書が設定されています。

※ () 内のキーを押すと、各辞書セットを使って変換できます。先頭の 、 はインストール直後のオン／オフの設定を表しています。 (オフ) の辞書は、下記の方法でオンにすると使えるようになります。

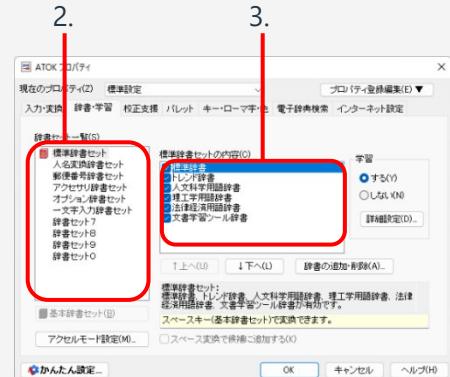
※ F2・F4キーに割り付けられている辞書は、スペースキーでも変換できます。

▶P49 スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

標準辞書セット (スペースキー)	郵便番号辞書セット (F3キー)	一文字入力辞書 セット (Shift + F6キー)
<input checked="" type="checkbox"/> 標準辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便番号辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 部首変換辞書
<input checked="" type="checkbox"/> トレンド辞書	<input type="checkbox"/> 郵便番号辞書：事業所	<input checked="" type="checkbox"/> 文字コード辞書
<input checked="" type="checkbox"/> 人文科学用語辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 町名住所変換辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 単漢字辞書
<input checked="" type="checkbox"/> 理工学用語辞書	<input type="checkbox"/> IVS 辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 記号辞書
<input checked="" type="checkbox"/> 法律経済用語辞書		
<input checked="" type="checkbox"/> 文書学習ツール辞書		
人名変換辞書セット (F2キー)	アクセサリ辞書セット (F4キー)	
<input checked="" type="checkbox"/> 標準辞書	<input checked="" type="checkbox"/> カタカナ語英語辞書	
<input checked="" type="checkbox"/> トレンド辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語英語辞書	
<input checked="" type="checkbox"/> 人名辞書	<input checked="" type="checkbox"/> 記号辞書	
<input checked="" type="checkbox"/> 単漢字辞書		
<input type="checkbox"/> IVS 辞書		

i 該当する辞書が辞書セットに正しく設定されているか確認する

1. プロパティ（環境設定）を起動します。
▶ P81 使いやすい設定に変更する
2. [辞書・学習] シートの [辞書セット一覧] で該当する辞書セットを選択します。
3. 該当する辞書が表示されているか、オンになっているか確認します。
4. [OK] をクリックします。



不適切な表現・誤りを指摘する

文字入力・変換の段階で、不適切な表現・誤りを指摘できます。指摘や訂正をするかしないかは、プロパティ（環境設定）の [校正支援] シートの各項目で設定します。なお、指摘に気付かず確定した場合でも、見逃した指摘があることを通知するアイコンが表示されます。アイコンをクリックして、指摘内容を確認できます。

- ▶ P81 使いやすい設定に変更する
- ▶ ATOKヘルプキーワード 校正支援

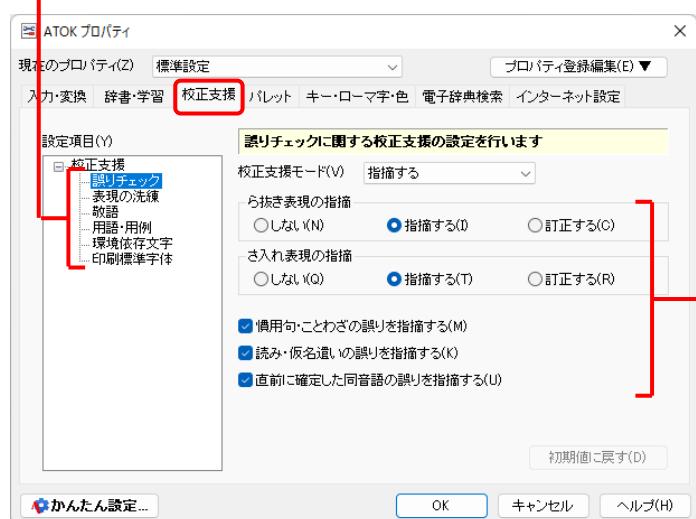
指摘・訂正のできる項目例

よく似た同音語	「内蔵」「内臓」など
ぐだけた表現	急いでます／わかんない
使い方を誤りやすい表現	気が置けない／役不足
読み・仮名遣いの誤り	人間ドッグ → 人間ドック
慣用句・ことわざの誤り	火蓋が落とされる → 火蓋が切られる
助詞の連続	大急ぎ「で」タクシー「で」帰った

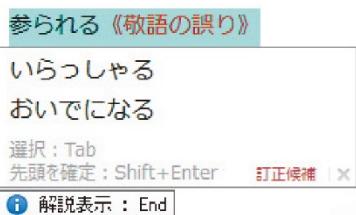
● プロパティ

設定したい項目を選択する

指摘するものを選択／オンにする



指摘例

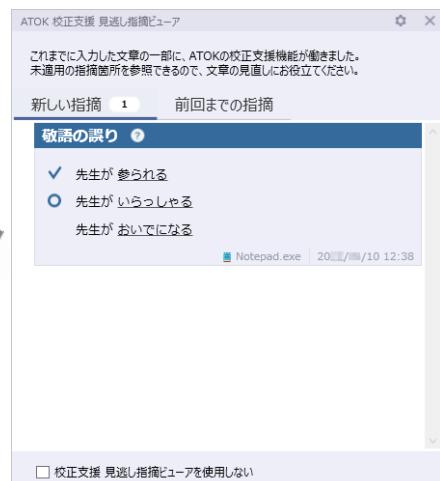


校長先生が参られる



指摘を通知するアイコン

校正支援見逃し指摘ビューア



指摘に気付かず、そのまま確定した場合

話し言葉や方言・文語表現で変換する

話し言葉や方言、文語表現で変換することができます。入力した内容に応じて、自動的に表現モードが切り替わります。手動で表現モードを切り替えたいときは、タスクバーの「[あ]」を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから「表現モード」を選択します。

※ 言語バーまたはATOKパレットをお使いの場合は、「般」（現在の入力方法によって表示は異なります）をクリックし、表現モードのメニューから目的のモードに切り替えます。

※ タッチキーボードの場合は、表現モードの自動切り替えは行われません。

▶ ATOKヘルプキーワード 表現モード

表現例

話し言葉	食べるかい？／開くもん
話し言葉関西	めっちゃ高いねん／そんなん聞いてへん
話し言葉北海道東北	一緒に行がねが／待っててけろ
話し言葉関東	行くんべえ／青なじみができちった
話し言葉中部北陸	元氣でやらまいか／がんばりまし
話し言葉中国四国	食べてみんさい／どこ行きよん
話し言葉九州	何ばしょっと／はよ起きらんね
文語	春過ぎて夏来にけらし白妙の

タスクバー



変換例

話し言葉関西の場合

かいもんいかへん|



スペースキーを押して変換

かいもん行かへん

よく使う単語や表現・フレーズを簡単に入力する

以前に入力した文字列やよく使うフレーズは、先頭の読みを入力すると自動的に表示されます。また、よく使う単語や文書を登録しておけば、効率よく文書を作成できます。連想変換辞書を利用して、別の言い回しや表現に変換することもできます。

入力しようとしている文字列を推測して表示する

以前に入力した文字列は、先頭の読みを入力すると推測候補として自動的に表示されます。実際よりも少ない読みで目的の文字列を簡単に入力できます。

推測候補には、通常の変換候補と同じような一般的なことばやフレーズ、固有名や地名、慣用句や英単語・英文など、省入力データに登録されている文字列も表示されます。あらかじめ用意されている省入力データのほか、よく入力するフレーズを登録して使うこともできます。また、辞書に単語を登録するときに、同時に省入力データにも登録することができます。

▶P.71 省入力データを使って簡単に入力する

- 「東京都新宿区西新宿」と確定したあとで、もう一度同じ読みを入力

とうきょ|

東京都新宿区西新宿
東京都新宿区
:
選択: Tab
先頭を確定: Shift+Enter 推測候補 | X



Shift+Enterキーで先頭の候補を確定

東京都新宿区西新宿|

- ほかの推測候補を表示する

推測候補が表示された画面でTabキーまたは↓キーを押すと、省入力データに登録されている文字列など、ほかの候補も表示されます。

よろしく|

よろしくお願ひいたします。
よろしくお願いいたします。
:
選択: Tab
先頭を確定: Shift+Enter 推測候補 | X



Tab/↓キーで

ほかの推測候補を表示

よろしくお願ひいたします。

- | | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | よろしくお願ひいたします。 | ▶ |
| 2 | よろしくお願い申し上げます。 | ▶ |
| 3 | よろしくお取り計らいください。 | ▶ |
| 4 | よろしくお伝えください。 | ▶ |
| 5 | よろしくご検討ください。 | ▶ |
| 6 | よろしくご検討のほどお願ひします。 | ▶ |
| 7 | よろしくご検討のほどお願ひいたします。 | ▶ |
| 8 | よろしくご検討のほどお願ひ申し上げます。 | ▶ |
| 9 | よろしくご指導ください。 | ▶ |

推測候補 10/21 Q 回

0 よろしく

変換候補

① 推測候補から不要な候補を削除する

推測候補の一覧で、削除したい候補に反転カーソルを合わせ、**Ctrl+Delete**キーを押します。削除を確認するメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。

※ タッチキーボードの場合は、キー操作では削除できません。

① 少ない読みで推測候補を表示しない

1. プロパティ（環境設定）を起動する
▶P81 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換] を選択する
3. [推測候補の自動表示] で [自動表示] を [する] にする
4. [推測候補の自動表示] で [詳細設定] をクリックする
5. [表示開始文字数] に設定値よりも大きい数値を設定し、[OK] をクリックする
6. [OK] をクリックする

① 複数文節を入力中に推測候補を表示しないようにする

プロパティ（環境設定）の [入力・変換] シートの [推測変換-追加する候補] で、[複数文節からなる候補を追加する] をオフにします。

▶P81 使いやすい設定に変更する

省入力データを使って簡単に入力する

よく入力するフレーズは、先頭の読みを入力しただけで変換できるように、省入力データとして登録しておくことができます。

タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[辞書メンテナンス-省入力データの編集] を選択すると、辞書ユーティリティが起動し、省入力データを編集することができます。

▶ATOKヘルプキーワード 省入力データ

あらかじめ用意されている省入力データを使って、慣用句や英単語・英文などに簡単に変換することもできます。

① 本商品で用意されている省入力データ

- ・省入力登録データ
- ・省入力ユーザーデータ
- ・標準省入力データ
- ・慣用表現データ
- ・英語省入力データ

① 省入力データを追加するには

1. プロパティ（環境設定）を起動する
▶P81 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換-省入力データ] を選択する
3. [追加・削除] をクリックし、表示された [省入力データの追加・削除] ダイアログボックスの [追加可能な省入力データの一覧] から追加したい省入力データを選択する
4. [追加] をクリックして、[OK] をクリックする
5. [OK] をクリックする

① 使用する省入力データを限定する

1. プロパティ（環境設定）を起動する
▶P81 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換-省入力データ] を選択する
3. [省入力データの内容] の一覧から、使用する省入力データだけをオンにする
4. [OK] をクリックする

別の言い回しや表現にする – 連想変換「類語ファインダー」 –

ことばを変換するときに、変換中のことばの表記から連想される類義語や言い換え表現などに変換できます。

ことばを入力して変換し、Ctrl + Tabキーを押して連想変換ウィンドウを表示します。

スペースキーまたは矢印キーで候補を選択し、Enterキーで確定します。

連想変換ウィンドウを閉じるには、Escキーを押すか、連想変換ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックします。

「お祝い」「お元気ですか」のようなことばから関連する英文に変換したり、「よろしくお願ひします」のようなあいさつ文例を、よく似た文例に変換したりすることもできます。

▶ ATOKヘルプキーワード 連想変換

新しい

「あたらしい」と入力し、

【新しい】の連想変換: Ctrl+Tab スペースキーを押して「新しい」に変換

↓ Ctrl + Tabキー



① 本商品で用意されている連想変換辞書

- ・標準連想変換辞書
- ・挨拶文例集
- ・文章表現辞典
- ・英文レター文例集

① 使用する連想変換辞書を限定したり、優先順位を変えたりする

▶ ATOKヘルプキーワード 連想変換辞書

① ATOK 2014までと同じ表示方法にするには

1. プロパティ（環境設定）を起動する
▶ P.81 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [設定項目] で [連想変換] を選択する
3. [候補ウィンドウで表示する] をオンにする
4. [OK] をクリックする

メール署名など、よく使う文書をお気に入り文書に登録して利用する

メール署名やビジネス文書で使う定型文など、よく使う文書は、「お気に入り文書」として登録しておくと、メニューから選択するだけで入力できます。日付や時刻などを文書中に挿入するときなどにも便利です。初めて使う場合は、タスクバーの〔あ〕を右クリックし、〔ATOKメニュー〕をクリックして〔基本のメニュー〕を選択したあと、〔入力ツール-お気に入り文書〕を選択し、〔「お気に入り文書」を初めてお使いの方へ〕を選択します。

▶ATOKヘルプキーワード お気に入り文書

よく使う定型文などの文書を簡単に収集・再利用する – ATOK@ブンコレ –

よく使う定型文などの文書を、簡単に収集したり、再利用できるようにしたりします。

キー操作で簡単に文書の登録画面を起動することができ、登録した文書は、お気に入り文書メニューから呼び出すことができます。

登録の際も、ATOKクラウドチェックーと連携して文書校正を行うことができるので、誤った文書が再利用されることを防ぐことができます。

タスクバーの〔あ〕を右クリックし、〔ATOKメニュー〕をクリックして〔基本のメニュー〕を選択したあと、〔入力ツール-@ブンコレ〕を選択します。

※本機能を利用するには、インターネット常時接続環境が必要です。

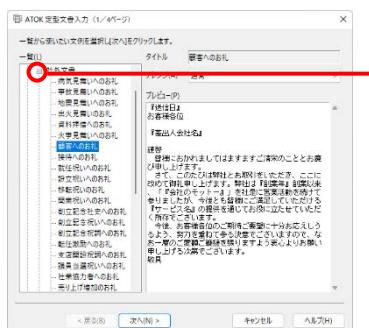
▶ATOKヘルプキーワード ATOK@ブンコレ

文例集から選んで入力する – 定型文書入力 –

案内状やお礼状など、文例集の中から目的に合った文例を選んで入力できます。ビジネスやプライベートなど、用途に応じたさまざまな文例が用意されています。画面のメッセージに従って、文例を選んだり、日付や宛先などを入力したりしていくだけで文書が簡単に作成できます。

タスクバーの〔あ〕を右クリックし、〔ATOKメニュー〕をクリックして〔基本のメニュー〕を選択したあと、〔入力ツール-定型文書入力〕を選択します。

▶ATOKヘルプキーワード 定型文書入力



一覧に表示されている〔+〕をクリックして〔-〕にすると、下の階層が表示される

よく使う単語を辞書に登録する

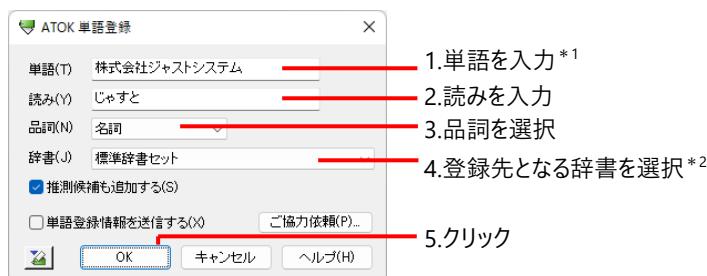
よく使う単語や変換できない単語は、辞書に登録しておくと便利です。長い単語を短い読みで登録しておくと、入力の手間を省くことができます。

また、同時に省入力データにも登録でき、推測変換に利用できます。

▶ ATOKヘルプキーワード 単語登録

タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[単語登録]」を選択します。

〔例〕「じやすと」と入力してスペースキーを押すと、「株式会社ジャストシステム」と変換されるようにする



*1 文字列をコピーしている場合や範囲指定している場合は、その文字列が反映されます。

*2 スペースキーで変換できるようにするときは「[標準辞書セット]」を選択します。

① 登録できる単語と読み

◆ 単語

全角・半角を問わず100文字以内で入力します。

※ サロゲートペアで表現される文字は2文字と数えます。

◆ 読み

全角・半角を問わず32文字以内で入力します。

※ ただし、全角文字の場合、濁点・半濁点を含む文字は2文字と数えます。

全角のひらがな、全角・半角のカタカナ・アルファベット・数字・記号

(` ° - + * / _ # \$ % & = @ : ; . ^ ~ ` < > ¥ ~) を使用できます。

スペース・漢字・独仏文字・発音記号・特殊記号は使用できません。

読みの先頭に「- ° 」は使用できません。

② 登録した単語のバックアップをとる

登録した単語は、ユーザー辞書に書き込まれます。

バックアップをとるには、ユーザー辞書（標準辞書セットの場合は、

ATOK36U1.DIC）をUSBメモリなどのメディアにコピーしておきます。

▶ P.19 ATOKの環境設定やユーザー辞書について

▶ P.86 ATOKの環境をバックアップする

i 登録した単語を削除する

削除したい単語を入力・変換し、Ctrl + Deleteキーを押します。

※ タッチキーボードの場合は、キー操作では削除できません。

電子辞典でことばの意味を確かめる

文章の閲覧中や文字の入力・変換中に、電子辞典を使ってことばの意味を確かめることができます。電子辞典に音声データが含まれる場合は、再生することもできます。

▶ ATOKヘルプキーワード 電子辞典検索

※この機能を使うには、次のような商品がインストールされているか、ATOKクラウド辞典が有効になっている必要があります。

- ◆ 「単漢字情報」電子辞典
- ◆ 乗換案内 駅名変換辞書 for ATOK
- その他、ATOK連携電子辞典

※画面はATOKクラウド辞典を使用した例です。

文章の閲覧中にことばの意味を調べる – ATOKイミクル –

「ATOKイミクル」を使用すると、閲覧中の文章にあることばの意味を調べられます。

1. 調べたいことばを範囲指定します。
2. Ctrlキーを2回押します。

ATOKイミクルが起動し、電子辞典の内容が表示されます。



画面を常に最前面に表示するか、

フォーカスを外すと画面が消えるかを設定します。

① 調べたいことばが複数の電子辞典に記載されている場合

該当する電子辞典がタブで表示されます。タブをクリックすると、電子辞典を切り替えられます。

② 検索方法を切り替えるには

右上の▼をクリックすると、入力欄などが表示されます。

単語検索 ▼

検索文字列を入力

▼



入力した検索文字列で検索実行

検索文字列を入力

入力した検索文字列で検索実行

部分一致、前方一致、後方一致検索に切り替え

文章の入力・変換中にことばの意味を調べる

● 日本語の意味を調べる

1. 調べたいことばを入力・変換します。
2. 確定する前の状態で、Endキー^{*1}を押します。

情報ウィンドウに電子辞典の内容が表示されます。

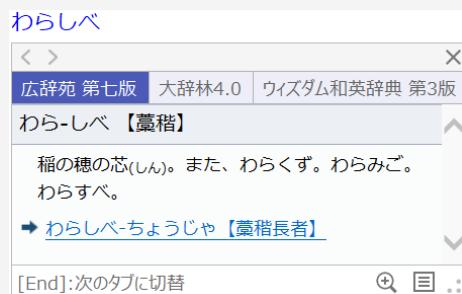
*1 MS-IMEスタイルの場合は、Ctrl + Endキーです。

キーボードによっては、Fn + Endキーのように、ほかのキーと一緒に押す必要があります。



① 検索したい単語が変換できない場合

ATOKの通常の操作では変換できないことばの場合、読みをひらがなで入力した状態から変換しないで検索します。



① タッチキーボードの場合

候補の一覧で、調べたい候補を長押しして表示されるメニューから、「電子辞典検索」を選択します。

● 英単語の意味を調べる

1. Caps Lock英数キーを押すか、タスクバーの「[あ]」を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから「[入力文字種-半角英字／全角英字]」を選択して、英語入力モードに切り替えます。ローマ字入力の場合は、Shiftキーを押したまま文字キーを押すと、英語入力モードに切り替わります。

※ 言語バーまたはATOKパレットをお使いの場合は、「あ」をクリックして表示されるメニューから「半角英字」または「全角英字」を選択します。

- 調べたい単語を入力します。
未確定の状態でアルファベットが入力されます。
 - Endキー^{*1}を2回押します。
情報ウィンドウに電子辞典の内容が表示されます。

* 1 MS-IMEスタイルの場合は、Ctrl + Endキーです。
キーボードによっては、Fn + Endキーのように、ほかのキーと一緒に同時に押す必要があります。



● 単漢字情報を見る

文字パレットの「文字情報」をクリックして表示される文字情報が、電子辞典検索機能でも利用できます。

「人名用漢字」に該当するかどうかや、「文字コード」などの情報も確認できます。

※「単漢字情報」電子辞典で検索できるのは、一文字の漢字だけです。



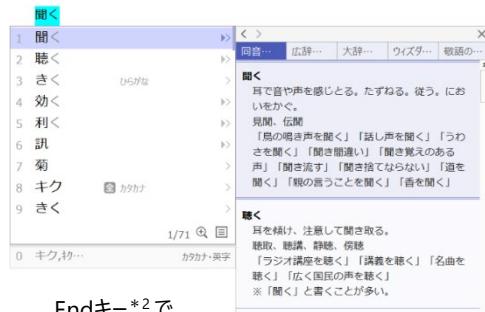
※別の電子辞典や同音語情報が表示されている場合は、下記の操作で「単漢字情報|電子辞典」に切り替えます。

● ほかの電子辞典や同音語情報の表示に切り替える

電子辞典に掲載されている単語には、候補ウインドウでは › が付いて表示されます。› の付いた単語に反転カーソルを合わせてしばらくすると、電子辞典の内容が自動的に表示されます。

同音語情報と電子辞典の両方に説明がある単語には、▶ が付いて表示されます。

別の電子辞典や同音語情報の表示に切り替えるには、切り替えたいタブをクリックするか、Endキー*²を押します。



Endキー*²で

切り替え



* 2 MS-IMEスタイルの場合は、Ctrl + Endキーです。

キー ボードによっては、Fn + Endキーのように、ほかのキーと一緒に押す必要があります。

① Endキーを押しても電子辞典検索ができない

スタートアップツールで [Windows付属の日本語入力システム (Microsoft IME) 風のキー操作にする] を選択した場合は、MS-IMEスタイルのキーの設定になっているため、キーの割付が異なります。この場合は、Ctrl + Endキーを押します。

また、ノートパソコンなど、お使いのキー ボードによっては、ほかのキーと Endキーが 1 つのキーになっている場合があります。例えば、Fn + Endキーなど、お使いのキー ボードのルールに従ってキーを押す必要があります。

設定のカスタマイズ

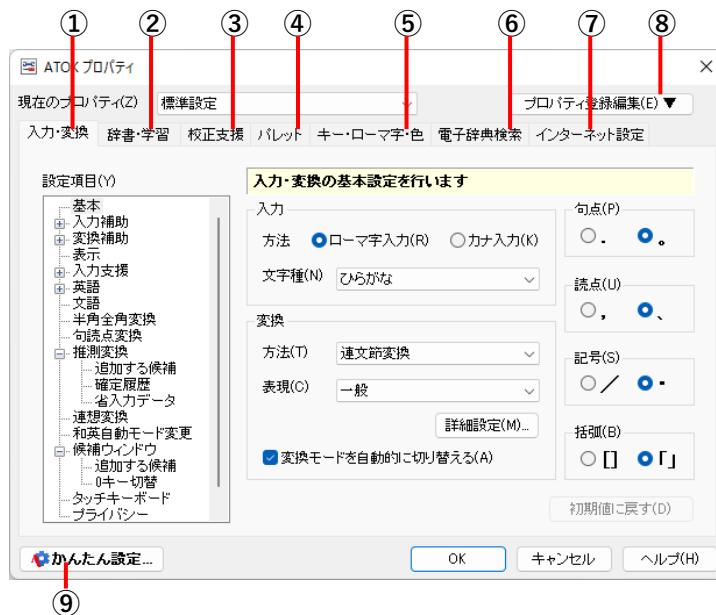
ATOKの操作環境を使いやすく調整するための機能を紹介します。

使いやすい設定に変更する

ATOKの操作環境や辞書・省入力データ・電子辞典の設定は、プロパティ（環境設定）で行います。設定する内容に応じて、各シートに切り替えて詳細を設定します。

タスクバーの「[a]」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[プロパティ（環境設定）]」を選択して起動します。

▶ATOKヘルプキーワード プロパティ



① [入力・変換] シート

入力・変換などの操作環境について設定します。

省入力データや連想変換辞書もここで設定します。

② [辞書・学習] シート

変換に使用する辞書と、変換結果を辞書に登録する学習について設定します。

ユーザー辞書の設定もここで確認できます。

③ [校正支援] シート

誤りチェックなど校正支援のモードを設定します。

④ [パレット] シート

ATOKパレットの配色や表示する機能ボタンを設定します。

⑤ [キー・ローマ字・色] シート

キーの割付やローマ字とかなの対応規則、入力・変換時に表示される文字の色などを設定します。

⑥ [電子辞典検索] シート

電子辞典を検索するときに、使用する電子辞典を設定します。

⑦ [インターネット設定] シート

ATOKダイレクトやATOK Syncなどで利用するプロキシを設定します。

⑧ [プロパティ登録編集]

プロパティで設定した内容を記憶する環境設定を編集します。

※ プロパティ関連付けツールからプロパティを起動している場合は、ボタンが「設定の変更」に変わります。

⑨ [かんたん設定]

ATOK プロパティを閉じ、カスタムATOKを起動します。

設問に答えていく形式で操作環境を整えられます。

▶ P.82 使い方にあった入力・操作環境を整える

使い方にあった入力・操作環境を整える

カスタムATOKを使うと、自分の使い方にあったATOKの入力・操作環境を整えられます。

カスタムATOKには、プロパティ（環境設定）の項目のほか、候補ウィンドウのデザインやクラウドサービス機能の設定なども含まれています。

タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[カスタムATOK]」を選択して起動します。

▶ ATOK ヘルプキーワード カスタム ATOK



アプリケーション別に設定を切り替える

プロパティ関連付けツールを使うと、ATOKの入力・変換を環境設定として登録し、メール用・ワープロ用など、アプリケーションごとに入力・変換の設定が切り替わるように関連付けることができます。

タスクバー上の〔スタート〕ボタンをクリックし、〔すべて〕をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、〔ATOK-ATOKツール-プロパティ関連付けツール〕を選択して起動します。

▶ ATOKヘルプキーワード プロパティ関連付けツール



辞書・データのメンテナンス

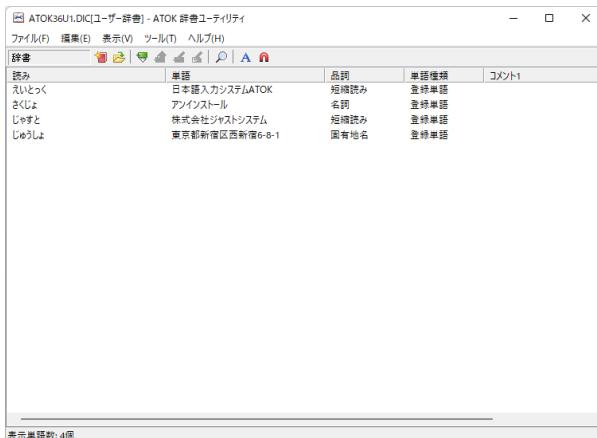
変換に使用する辞書や省入力データは、編集することができます。
また、旧バージョンから引き継いだり、バックアップしたりすることもできます。

辞書をメンテナンスする

辞書ユーティリティを使うと、単語や用例の登録・削除など、辞書をメンテナンスしたり、旧バージョンや、他社の日本語入力システムに登録していた単語を、ATOKの辞書に追加したりすることができます。また、よく入力するフレーズを、先頭の読みを入力しただけで変換できるように省入力データとして登録したり、確定履歴を削除したりすることができます。

タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[辞書メンテナンス-辞書ユーティリティ]」または「[辞書メンテナンス-省入力データの編集]」を選択して起動します。

▶ ATOKヘルプキーワード 辞書ユーティリティ



① 省入力データをコンバートする

ATOK 2012以前で作成した省入力データを使用するにはコンバートが必要です。

コンバート方法は、ヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード 3.0 形式

文書や RSS、Atom から自動で単語を登録する

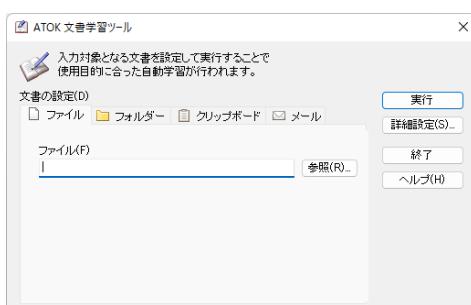
文書学習ツールを使うと、文書やメールなどから辞書に登録されていない単語を自動的に抜き出し、辞書や省入力データに登録することができます。

入力する機会の多いことば（単語）が含まれた専門分野の文書などから単語を抽出することで、使用目的に合った情報が辞書や省入力データに学習されます。

タスクバーの「あ」を右クリックし、「ATOKメニュー」をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「辞書メンテナンス-文書学習ツール」を選択して起動します。

エクスプローラーで学習したいファイルやフォルダーを選択し、右クリックして表示されるメニューから「[ATOKで学習する]」を選択し、学習を実行することができます。

▶ ATOKヘルプキーワード 文書学習ツール



また、指定した RSS、Atom^{*1} の内容を定期的に学習することもできます。

タスクバーの「あ」を右クリックし、「ATOKメニュー」をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「辞書メンテナンス-推測候補定期学習設定」を選択して行います。

▶ ATOKヘルプキーワード 推測候補定期学習

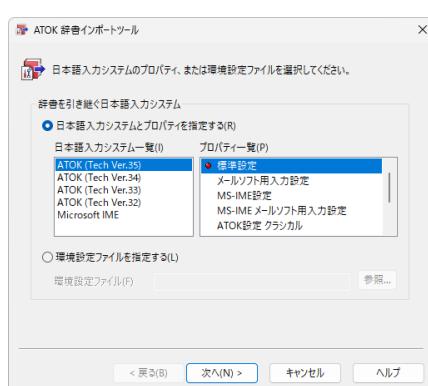
*1 RSS、Atomは、ニュースやブログなどWebサイトの更新情報をまとめて配信するための文書フォーマットです。

旧バージョンのATOKや、Microsoft IMEで登録した単語を利用する

辞書インポートツールを使うと、旧バージョンのATOK（ATOK 2007以降）で使用していた辞書や、旧バージョンのATOKやMicrosoft JIMEで登録した単語を、新しいバージョンのATOKで使えるようになります。

タスクバーの「あ」を右クリックし、「ATOKメニュー」をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「辞書メンテナンス-辞書インポートツール」を選択して起動します。

▶ ATOKヘルプキーワード 辞書インポートツール



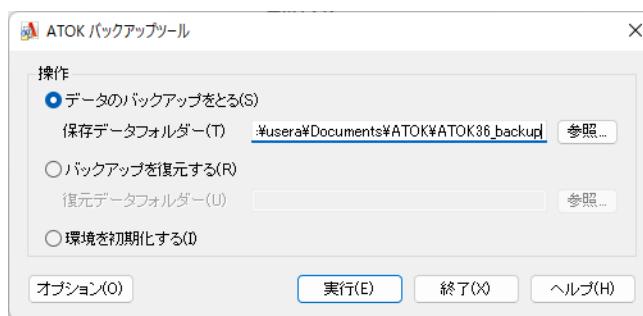
ATOKの環境をバックアップする

バックアップツールを使うと、登録した単語や省入力データ、作成したお気に入り文書など、ATOKの環境をバックアップしたり、復元したりすることができます。

ATOKの環境をインストールしたときの状態に戻すこともできます。

▶ ATOKヘルプキーワード バックアップツール

- タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックし、「すべて」をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、[ATOK-ATOKツール-バックアップツール] を選択します。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。バックアップツールが起動します。
- [データのバックアップをとる] を選択します。

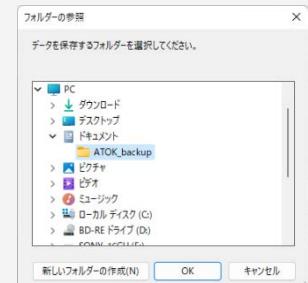


- [オプション] をクリックし、保存するデータを選択して [OK] をクリックします。
ATOKにあとから設定した辞書・辞典、追加・変更したデータなど、すべて保存する場合は「すべて」、ユーザー辞書や学習情報だけ保存する場合は「学習情報のみ」を選択します。
 - [実行] をクリックします。
 - 保存を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
 - 保存が完了したら、[閉じる] をクリックします。
 - [終了] をクリックして、バックアップツールを終了します。
- バックアップしたデータを復元するときは、操作 2.で「バックアップを復元する」を選択して操作を進めます。

① バックアップしたデータを保存するフォルダーを変更する・作成する

操作 2.のあと「参照」をクリックし、「フォルダーの参照」ダイアログボックスでバックアップしたデータを保存するフォルダーを選択します。

「フォルダーの参照」ダイアログボックスで「新しいフォルダーの作成」をクリックすると、バックアップしたデータを保存するフォルダーを作成することができます。



辞書・登録単語に関するよくある質問

▶ ATOKヘルプキーワード 辞書の引き継ぎ・編集

同じパソコンにある旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システムに登録した単語を利用したい

スタートアップツールを使って、旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システム (Microsoft IME) に登録している単語をATOKの辞書に追加できます。

▶ P.17 ATOKの環境を設定する

変換時に「辞書として扱えません」「辞書ファイルが見つかりません」などのメッセージが表示される

辞書ファイルのドライブ・フォルダー・ファイルを設定しなおします。詳しくはヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード メッセージ

旧バージョンのATOKで登録した単語（ユーザー辞書）を別のパソコンで利用したい

ATOKをインストールしたパソコンに旧バージョンのユーザー辞書をコピーし、辞書ユーティリティを使って辞書合併を行います。

※ 登録した単語の並び順など、学習した情報は引き継がれません。

1. 辞書ファイルをコピーする

USBメモリやメモリーカードなどのメディアを使って、ユーザー辞書^{＊1}を移行先のパソコンにコピーします。

＊1 ユーザー辞書のファイル名や保存場所については、旧バージョンのATOKのマニュアルやヘルプで確認してください。

2. 辞書を合併する

1. 移行先のパソコンで、タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[辞書メンテナス-辞書ユーティリティ]」を選択します。

基本辞書セットのユーザー辞書（通常はATOK36U1.DIC）の内容が表示されます。

※ 通常は、使用中のユーザー辞書（ATOK36U1.DIC）に登録します。別の辞書に登録したい場合は、登録したい辞書を開きます。

2. 「[ツール-辞書の合併]」を選択し、「[辞書合併]」シートを選択します。

3. 「[読み出し辞書]」の「[参照]」をクリックして、操作1でコピーした辞書ファイルを指定します。

4. 「[実行]」をクリックします。

「[辞書合併]」ダイアログボックスが表示され、単語の登録が開始されます。

5. 「終了しました。」と表示されたら、「[閉じる]」をクリックして「[辞書合併]」シートに戻ります。

6. 「[閉じる]」をクリックします。

7. 画面右上の「×

」をクリックして、辞書ユーティリティを終了します。

ATOKで登録した単語や設定を別のパソコンで利用したい

辞書に登録した単語やキーカスタマイズなどの設定、お気に入り文書などのデータや、ATOKをインストールしたあとで追加した辞書・辞典は、バックアップツールを利用してバックアップし、別のパソコンで復元すると、そのまま使用することができます。

1. ATOKの辞書や設定を【すべて】でバックアップする

▶P.86 ATOKの環境をバックアップする

2. 移行先のパソコンにバックアップしたデータをコピーする

- 操作 1 で作成したフォルダーを、移行先のパソコンにコピーします。

3. ATOKの辞書や設定のバックアップを復元する

- 管理者アカウントのユーザーでサインインします。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了します。
- ATOK以外の言語に通常使用する言語（日本語入力システム）を切り替えて、Windowsを再起動します。

※ Microsoft IMEなどATOK以外の言語に設定してください。

- タスクバー上の【スタート】ボタンをクリックし、【すべて】をクリックしてアプリ一覧を表示したあと、【ATOK-ATOKツール-バックアップツール】を選択します。

※【ユーザー アカウント制御】ダイアログボックスが表示された場合は、【はい】をクリックします。

- 【バックアップを復元する】を選択します。
- 【参照】をクリックし、操作 2 でコピーしたフォルダーを指定して、【OK】をクリックします。
- ▶P.19 ATOKの環境設定やユーザー辞書について
- 【実行】をクリックします。
- 「復元前のATOKの設定や辞書の内容は上書きされます。よろしいですか？」と表示されたら、【はい】をクリックします。
- 「復元が完了しました。」と表示されたら、【閉じる】をクリックします。
- 「復元が完了しました。既定の言語をATOKに切り替えますか？」と表示されたら、【はい】をクリックします。
- 【終了】をクリックして、バックアップツールを終了します。

※操作9で「復元が完了しました。Windowsを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、【はい】をクリックして、Windowsを再起動してください。

ATOK連携電子辞典を別ドライブにインストールしたい

ATOK連携電子辞典を初期設定以外の場所にインストールしたい場合は、ファイルを手動でコピーし、設定を行います。詳しくはヘルプを参照してください。

▶ATOKヘルプキーワード ブラチナ辞書・辞典

旧バージョンで使っていた変換辞書・電子辞典・省入力データを使用したい

● 同じパソコンで使う場合

旧バージョンのATOKで辞書・辞典・省入力データを使用していたパソコンに、ATOKをインストールした場合は、Windowsを再起動したあとに自動的に表示されるスタートアップツールを実行することで設定することができます。

正しく設定されているかどうかは、P.32 の操作方法で確認してください。

● 別のパソコンで使う場合

- ◆ 2008年以降に発売された商品

（「ATOK 2017 for Windows [プレミアム]」や「広辞苑 第六版 for ATOK」など）
ディスクからそのままインストールできます。

正しく設定されているかどうかは、P.32 の操作方法で確認してください。

- ◆ 2007年以前に発売された商品

各商品に含まれるデータを各マニュアルまたはサポート情報サイトで確認して、手動で設定を行ってください。

<https://support.justsystems.com/>

① 辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所

次のフォルダーにコピーします。

※?には、Windowsの存在するドライブ名が入ります。

? : ¥Program Files (x86) ¥JustSystems¥ATOK¥DIC

? : ¥Program Files (x86) ¥JustSystems¥ATOK¥DAR

■ 変換辞書を別のパソコンで使う

1. 辞書をコピーする

1. CD (DVD) ドライブに、移行したい商品のディスクを入れます。
2. ディスク内から、旧バージョンのATOKで使っていた辞書ファイル（拡張子が「.DIC」のファイル）を探して、適当な場所にコピーします。

※辞書ファイル名は、ATOKプロパティの「[辞書・学習]」シートで、お使いの辞書を選択すると確認できます。

※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード 拡張子

※ATOK 2007 以降で使っていた辞書の場合は、P.89「辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。

2. 辞書をコンバートする

※ATOK 2007以降で使っていた辞書の場合は、コンバートする必要はありません。操作 3 へ進みます。

1. タスクバーの「[あ]」を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして「[基本のメニュー]」を選択したあと、「[辞書メンテナンス-辞書ユーティリティ]」を選択します。
2. 「[ファイル-辞書コンバート]」を選択します。

3. [変換元辞書] の [参照] をクリックし、操作 1 でコピーした専門用語変換辞書のファイルを選択します。
4. [変換先辞書] に変換先辞書ファイル名をドライブ名・フォルダー名から入力します。
[参照] をクリックすると、フォルダーなどをクリックして選択できます。
※ファイル名は変更せず、ドライブ名・フォルダー名を、P89「辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーに変更してください。
5. [OK] をクリックします。
変換元辞書をもとに、ATOKの辞書が新しく作成されます。
6. 「終了しました。」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
7. 画面右上の  をクリックして、辞書ユーティリティを終了します。

3. 辞書を設定する

- ※1つの辞書セットに設定できる辞書の数は20個までです。
1. タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[プロパティ (環境設定)] を選択します。
 2. [辞書・学習] シートを選択します。
 3. 左側の [辞書セット一覧] から辞書を設定したい辞書セットを選択します。
 4. [辞書の追加・削除] をクリックします。
 5. [追加可能な辞書の一覧] から、追加したい辞書を選択し、[追加] をクリックします。
追加したい辞書が表示されていない場合は、[ファイルを指定して追加] をクリックして、追加します。
 6. [辞書セットの内容] に追加した辞書が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。
[辞書・学習] シートに戻ります。
 7. [OK] をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

■ 電子辞典を別のパソコンで使う

1. 電子辞典をコピーする

1. CD (DVD) ドライブに、移行したい商品のディスクを入れます。
2. ディスク内にある拡張子が「.DRT」「.DRW」のファイルを探して、次のフォルダーにコピーします。
※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。
▶  拡張子
※?には、Windowsの存在するドライブ名が入ります。

? : ¥Program Files (x86) ¥JustSystems¥ATOK¥DRT

2. 電子辞典を設定する

1. タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[プロパティ (環境設定)] を選択します。
2. [電子辞典検索] シートを選択します。
3. [電子辞典を検索する] がオンになっていることを確認します。
※オフになっている場合は、クリックしてオンにします。
4. [辞典の追加・削除] をクリックして使いたい辞典を追加します。

5. [日本語辞典] もしくは [英語辞典] に使いたい電子辞典が表示されてオンになっているか確認します。
6. [OK] をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

■ 省入力データを別のパソコンで使う

1. 省入力データをコピーする

1. CD (DVD) ドライブに、移行したい商品のディスクを入れます。
 2. ディスク内にある拡張子が「.DAR」のファイルを探して、P.89「辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。
- ※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード 拡張子

2. 省入力データをコンバートする

コンバート方法はヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード 3.0 形式

3. 省入力データを設定する

※設定できる省入力データの数は30個までです。

1. タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[プロパティ (環境設定)] を選択します。
 2. [入力・変換] シートを選択します。
 3. 左側の [設定項目] で [推測変換] の [省入力データ] を選択します。
 4. [省入力データを使用する] がオンになっていることを確認します。
- ※オフになっている場合は、クリックしてオンにします。
5. [追加・削除] をクリックして使いたい省入力データを追加します。
 6. [省入力データの内容] に使いたい省入力データが表示されてオンになっているか確認します。
 7. [OK] をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

旧バージョンで使っていた角川類語新辞典for ATOK（連想変換辞書）を使用したい

● 同じパソコンで使う場合

旧バージョンのATOKで角川類語新辞典を使用していたパソコンに最新のATOKをインストールした場合は、Windowsを再起動したあとに自動的に表示されるスタートアップツールを実行することで設定することができます。

▶ P.17 ATOKの環境を設定する

最新のATOKに設定できているかどうか確認します。

1. タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[プロパティ (環境設定)] を選択します。
2. [入力・変換] シートを選択します。
3. 左側の [設定項目] で [連想変換] を選択します。
4. [連想変換を有効にする] がオフの場合はクリックして、オンにします。
5. [連想変換辞書の内容] に [角川類語新辞典] が表示されオンになっていることを確認します。

オフの場合はクリックして、オンにします。

※表示されていない場合は、[追加・削除] をクリックして [角川類語新辞典] を追加します。

- [OK] をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

● 別のパソコンで使う場合

別のパソコンで角川類語新辞典を使いたい場合は、手動で設定します。

1. 連想変換辞書をコピーする

- CD (DVD) ドライブに、角川類語新辞典 for ATOK のディスクを入れます。
- ディスク内にある「KADOKAWA_RUIGO.DSY」を探して、P.89「辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。

※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。

▶ ATOKヘルプキーワード 拡張子

2. 角川類語新辞典を設定する

- 上記「●同じパソコンで使う場合」の操作5.で [追加・削除] をクリックします。
[連想変換辞書の追加・削除] ダイアログボックスが表示されます。
- [追加可能な連想変換辞書の一覧] で [角川類語新辞典] を選択して、[追加] をクリックします。
[連想変換辞書の内容] に [角川類語新辞典] が移動します。
- [OK] をクリックします。
[ATOK プロパティ] ダイアログボックスに戻ります。
- [連想変換辞書の内容] に [角川類語新辞典] が追加され、オンになっていることを確認します。
- [OK] をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

① よくある質問と回答の最新情報

サポート情報サイトで最新情報をることができます。

<https://support.justsystems.com/>

ATOKクラウドサービスとは

最新キーワードの受け取りや、複数のパソコンで登録単語などのデータ共有ができるなど、便利なサービスを利用できます。

ATOKクラウドサービスを利用するには、初期設定が必要です。

- ▶ P.23 ATOKクラウドサービスの初期設定をする
- ▶ P.29 ATOKクラウドサービスの使い方を確認する

※ ATOKクラウドサービスの詳細はWebページをご覧ください。

<https://www.atok.com/useful/>

最新のキーワードを受け取る – ATOKキーワードExpress –

大きなニュースや話題に付けられる名称、次に公開される映画タイトルなど、私たちの周りでは日々新しいことばが出現します。ATOKキーワードExpressは、新しいキーワードを配信するサービスです。配信されたキーワードは、お使いのATOKの推測候補として自動的に追加されます。あとからキーワードのサンプルを確認したり、Webで検索したりできます。

- ▶ ATOKヘルプキーワード キーワードExpress
- ※ 最新バージョンのATOKでのみ利用できます。

複数の環境でATOKを同じように使用する – ATOK Sync AP –

ATOK Sync APを利用すると、複数のパソコンのATOKや、MacやスマートフォンのATOKと登録単語などのデータを共有することができます。

- ※ ATOK Sync APは、ATOK PassportでATOKをご利用の方に提供する、ATOK Sync アドバンスの拡張サービスです。
- ※ アプリケーション無償領域に申し込むと、ATOK Passportを契約中はずつとご利用いただけます。
- ※ 環境設定の同期が取れるのは、Windows版のATOK間だけです。

- ▶ ATOKヘルプキーワード ATOK Sync

⚠ ATOK Sync APを利用するには、パソコンごとに初期設定が必要です

タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[ATOKクラウドサービス–クラウドサービスの初期設定] を選択すると設定画面が表示されます。

この設定画面の手順に従うことで、利用開始の申し込みを含め必要な手続きや設定を行うことができます。

※ [ATOK Sync–学習・登録の同期／環境設定のアップロード] などのメニューが表示される場合は、初期設定が完了しています。

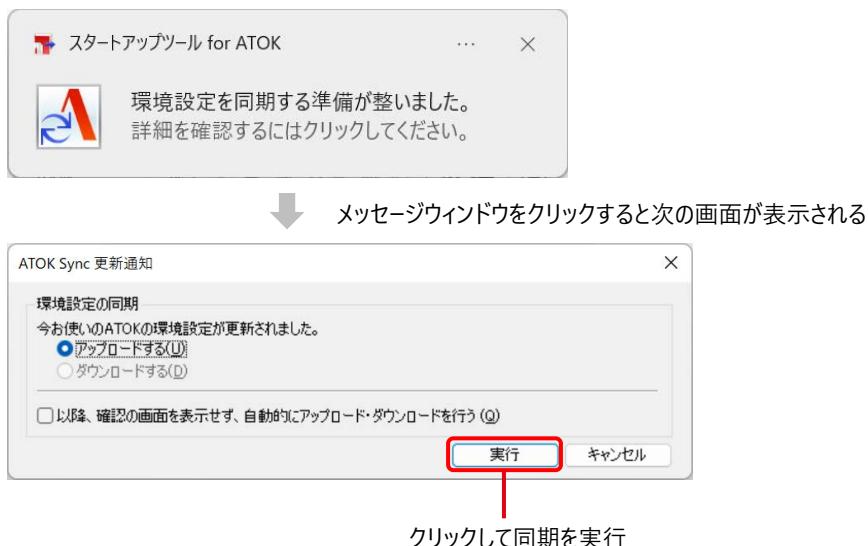
● 登録単語や学習情報の同期を取る

インストール直後の設定では、次のデータはインターネットディスク上のデータとの同期が自動的に行われます。

- ◆ 登録単語・用例（学習情報を含む）
- ◆ 確定履歴
- ◆ ユーザー作成省入力データ
- ◆ ユーザー作成辞書

● 環境設定やお気に入り文書の同期を取る

インストール直後の設定では、環境設定やお気に入り文書は手動で同期を取る設定になっています。タスクトレイに表示されているATOK Sync APのアイコン上に次のようなメッセージが表示されたら、同期を実行します。



● タスクトレイのアイコンでATOK Sync APの状態を確認する

ATOK Sync APが起動しているときは、タスクトレイにATOK Sync APのアイコンが表示されます。

 ... ATOK Sync APが起動中です。同期処理の実行中は、アイコンの青いマークが回転します。

 ... 環境設定・お気に入り文書の更新を通知します。

● ATOK Sync APの設定を変更する

同期の対象にするデータや、自動で同期を取るスケジュールなどを変更する場合は、次のどちらかの方法で【ATOK Syncオプション】ダイアログボックスを表示し、設定を変更します。

- ◆ タスクバーの【あ】を右クリックし、【ATOKメニュー】をクリックして【基本のメニュー】を選択したあと、【ATOKクラウドサービス-ATOK Sync オプション】を選択する
- ◆ タスクトレイのATOK Sync APのアイコン  上で右クリックし、表示されるメニューから【オプション】を選択する

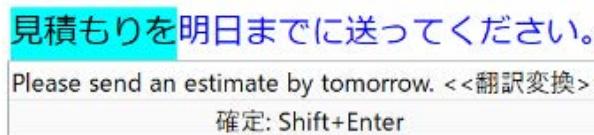


変換したことばを翻訳する－8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOK－

ATOKで変換したことばを、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語へ翻訳することができます。

8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOKの使い方について詳しくは、タスクバーの【あ】を右クリックし、【ATOKメニュー】をクリックして【基本のメニュー】を選択したあと、【クラウド翻訳変換-クラウド翻訳変換の使い方】をご覧ください。

▶ [ATOKヘルプキーワード 翻訳変換](#)



ATOKクラウド推測変換サービス

幅広い分野の単語が登録されたクラウド辞書を利用して、推測候補が表示されます。映画やゲームのタイトルのように長い単語も数文字入力するだけで正確な変換候補が表示されたり、よく使う単語からジャンルを推測して優先的に推測候補が表示されたりするようになります。また、クラウド辞書の確定履歴を端末内の辞書が学習するため、インターネット接続されていなくても推測された変換候補が表示されます。

ATOKナントカ変換サービス

「なんとか」に続けてことばを入力すると、後半が一致する候補をATOKが推測して候補を表示します。正確に思い出せないことばでも的確な変換候補に絞り込めます。「なんとか」以外に5個までキーワードをカスタマイズできます。

ATOKクラウド辞典サービス

クラウド上の電子辞典を利用して、ことばの意味を調べることができます。インストールすることなく、ローカルの電子辞典と同じ操作で最新の辞典を利用できます。

ATOKクラウド文章校正サービス

Webサイト「ATOKクラウドチェック」を利用して、誤字・脱字・表記揺れによる文章の間違いをすばやく見つけられます。メールの送信前やドキュメントの提出前など最終チェックに利用できます。

▶P.31 クラウド文章校正を起動する



ATOK MiRA

文章作成アシスタント「ATOK MiRA」（エイトクミラ：ATOK My Intelligent Rewrite Assistant）を利用して、生成AIにより文章を作成・書き換えることができます。

生成AIによる書き換えだけでなく、利用中のATOKでの文体の傾向・特徴を反映することもできます。

▶P.6 ATOKの新機能・特長

ATOK Passportをもっと活用する

ATOK My Passport

ATOK My Passportご契約中のJust アカウントでWebサイトにログインすると、お使いの端末にインストールしたATOKの状況が一覧表示されます。アップデートの適用状況や、ATOK Sync APの利用状況を確認でき、登録した単語などのデータがどの端末で共有されているなどを把握することができます。

- ▶ P.24 ATOK My Passportの設定をする
- ▶ P.31 ATOK My Passportページの表示を確認する

ATOKマンスリーレポート

1か月間に入力した文字の総数や変換した文字種の傾向を確認できます。また、入力ミスについてもQWERTYキーボードのどの文字位置で入力ミスが多いなどを視覚的に確認できます。

※ ATOKをインストールした端末ごとに計測されます。

※ ATOK for Windowsでご使用いただけます。



ショートカットキー一覧 (ATOKスタイル)

ATOKの標準的なキー割付の設定 (ATOKスタイル) は、次のとおりです。

現在のスタイルは、プロパティ (環境設定) の [キー・ローマ字・色] シートで確認できます。

このほかのショートカットキーについては、ヘルプをご覧ください。

▶ATOKヘルプキーワード ショートカットキー

変換操作

変換／次候補	スペース／変換／Ctrl + ↓／Shift + スペース
変換／前候補	↑／Ctrl + ↑
推測変換	Tab
再変換 (読みへの復帰)	Shift + 変換
連想変換	Ctrl+Tab
ひらがな (後) 変換	F6／Ctrl + U (な)
カタカナ (後) 変換	F7／Ctrl + I (に)
半角 (後) 変換	F8／Ctrl + O (ら)
全角無変換 (後) 変換	F9／Ctrl + P (せ)
半角無変換 (後) 変換	F10／Ctrl + @
読みの英字／カナ置換	F11
人名変換辞書セットで変換	F2
郵便番号辞書セットで変換	F3
アクセサリ辞書セットで変換	F4
オプション辞書セットで変換	F5
一文字入力辞書セットで変換	Shift + F6

文字編集、確定、取消操作

全文確定	Enter／Ctrl + M (も)
部分確定	↓／Ctrl + N (み)
1音確定	Shift + ↓
自動表示候補確定	Shift + Enter／Ctrl + Enter
先頭1文字を確定	PageDown
末尾1文字を確定	PageUp
変換取消	Backspace／Ctrl + H (く)
全文字削除	Esc／Ctrl + [
前文字削除	Backspace／Ctrl + H (く)
1文字削除	Delete／Ctrl + G (き)
注目文節削除	Shift + Delete
読みの入力誤り位置ヘジャンプ	Ctrl + J (ま)
自動修復取消	Shift + Backspace
カーソルを前へ移動	←／Ctrl + K (の)
カーソルをうしろへ移動	→／Ctrl + L (り)
カーソルを先頭へ移動	Ctrl + ←
カーソルを末尾へ移動	Ctrl + →

起動操作

プロパティ (環境設定)	Ctrl + F12
文字パレット	Ctrl + F11
お気に入り文書メニュー	Shift + Ctrl + F11
お気に入り文書リピート	Shift + Ctrl + F12
校正支援 見逃し指摘ビューア	Shift + Ctrl + F10
ATOK MiRA	Shift + Ctrl + M (も)

候補操作

次の候補群を表示	変換
前の候補群を表示	Shift + 変換
次のグループへ移動	Tab / Ctrl + J (ま)
前のグループへ移動	Shift + Tab
先頭文字並べ替え	Ctrl + PageDown
末尾文字並べ替え	Ctrl + PageUp
情報ウィンドウ表示／表示切替	End
情報ウィンドウ非表示	Shift + End
情報ウィンドウ次ページへ移動	Shift + Ctrl + PageDown
情報ウィンドウ前ページへ移動	Shift + Ctrl + PageUp
電子辞典 部分一致検索	Shift + Ctrl + End
全候補を表示	Ctrl + スペース
IVS選択ウィンドウオープン／クローズ	Home

文節操作

文節の区切りを前へ移動	← / Ctrl + K (の)
文節の区切りをうしろへ移動	→ / Ctrl + L (り)
注目文節を前へ移動	Shift + ←
注目文節をうしろへ移動	Shift + →
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ←
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + →

機能操作

日本語入力オン／オフ	半角全角
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
確定のアンドウ	Ctrl + Backspace
確定のリピート	Ctrl + F8／Shift + Ctrl + R (す)
ATOKメニュー	Ctrl + F10
入力文字種切替メニュー	Ctrl + F9
変換辞書切替メニュー	Ctrl + F8
漢字／半角モード切替	変換
固定入力英字順次切替	Shift + 無変換
固定入力カナ順次切替	Ctrl + 無変換
漢字入力モード順次切替	ローマ字 (Alt + カタカナひらがな) *1
半角無変換固定入力 (A) オン／オフ	無変換
英語入力モード オン／オフ	Caps Lock 英数
カナ入力切替	カタカナひらがな

*1 109/106日本語キーボードのみ有効です。

ショートカットキー一覧（MS-IMEスタイル）

Windows付属の日本語入力システムに近いキー割付の設定（MS-IMEスタイル）は、次のとおりです。

現在のスタイルは、プロパティ（環境設定）の「キー・ローマ字・色」シートで確認できます。

このほかのショートカットキーについては、ヘルプをご覧ください。

▶ATOKヘルプキーワード ショートカットキー

変換操作

変換／次候補	スペース／変換／↓／Ctrl + X（さ）
変換／前候補	Shift + スペース／Shift + 変換／↑／Ctrl + E（い）
推測変換	Tab
再変換（読みへの復帰）	変換／Shift + 変換
連想変換	Ctrl + Tab
ひらがな（後）変換	F6／Ctrl + U（な）
カタカナ（後）変換	F7／Ctrl + I（に）
半角（後）変換	F8／Ctrl + O（ら）
全角無変換（後）変換	F9／Ctrl + P（せ）
半角無変換（後）変換	F10／Ctrl + T（か）
順次無変換後変換	Shift + 無変換
順次カタカナ後変換	無変換
読みの英字／カナ置換	F11
人名変換辞書セットで変換	F2
郵便番号辞書セットで変換	F3
アクセサリ辞書セットで変換	F4
オプション辞書セットで変換	Ctrl + F5
一文字入力辞書セットで変換	F5

文字編集、確定、取消操作

全文確定	Enter／Ctrl + M (も) ／Ctrl + Enter
部分確定	Ctrl + ↓／Ctrl + N (み)
1音確定	Shift + ↓
自動表示候補確定	Shift + Enter
変換取消	Backspace／Ctrl + H (く) ／Esc／Ctrl + Z (つ)
全文字削除	Esc／Shift + Esc／Ctrl + Z (つ)
前文字削除	Backspace／Ctrl + H (く) ／Shift + Backspace
1文字削除	Delete／Ctrl + G (き)
読みの入力誤り位置ヘジャンプ	Ctrl + J (ま)
自動修復取消	Shift + Backspace
カーソルを前へ移動	←／Shift + ←／Ctrl + S (と) ／Ctrl + K (の)
カーソルをうしろへ移動	→／Shift + →／Ctrl + D (し) ／Ctrl + L (り)
カーソルを先頭へ移動	Home／Ctrl + ←／Ctrl + E (い) ／↑
カーソルを末尾へ移動	End／Ctrl + →／Ctrl + X (さ) ／↓

起動操作

お気に入り文書メニュー	Shift + Ctrl + F11
お気に入り文書リピート	Shift + Ctrl + F12
校正支援 見逃し指摘ビューア	Shift + Ctrl + F10
ATOK MiRA	Shift + Ctrl + M (も)

候補操作

次の候補群を表示	PageDown／Shift + ↓
前の候補群を表示	PageUp／Shift + ↑
次のグループへ移動	Tab／Ctrl + J (ま)
前のグループへ移動	Shift + Tab
先頭候補へ移動	Home
最終候補へ移動	End
先頭文字並べ替え	Ctrl + PageDown
末尾文字並べ替え	Ctrl + PageUp
情報ウインドウ表示／表示切替	Ctrl + End
情報ウインドウ非表示	Shift + End
情報ウインドウ次ページへ移動	Shift + Ctrl + PageDown
情報ウインドウ前ページへ移動	Shift + Ctrl + PageUp
電子辞典 部分一致検索	Shift + Ctrl + End
IVS選択ウインドウオーブン／ クローズ	Ctrl + Home

文節操作

文節の区切りを前へ移動	Shift + ←／Ctrl + K (の)
文節の区切りをうしろへ移動	Shift + →／Ctrl + L (り)
注目文節を前へ移動	←／Shift + S (と)
注目文節をうしろへ移動	→／Shift + D (し)
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ←／Home／Ctrl + A (ち)
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + →／End／Ctrl + F (は)

機能操作

日本語入力オン／オフ	半角全角
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
確定のアンドウ	Ctrl + Backspace
確定のリピート	Shift + Ctrl + R (す)
ATOKメニュー	Ctrl + F10
変換辞書切替メニュー	Ctrl + F8
入力文字種 (A/A) 順次切替	Shift + 無変換
入力文字種 (あ/ア/ア) 順次切替	無変換
漢字入力モード順次切替	ローマ字 (Alt + カタカナひらがな) *1
入力文字種全角ひらがな (あ)	カタカナひらがな
入力文字種全角カタカナ (ア)	Shift + カタカナひらがな
英語入力モード オン／オフ	Caps Lock 英数

*1 109/106日本語キーボードのみ有効です。

ローマ字・かな対応表

キーボード上の次の文字を組み合わせて押すことで、ひらがなを入力できます。

あ	あ A	い I	う U	え E	お O	な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO		にゃ NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	にょ NYO
	あ XA	い XI	う XU	え XE	お XO		は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
	あ WYI		ゑ WYE				ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	は	ひあ FA	ひい FI		ひえ FE	ひょ FO
	きや KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO		ふあ FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふょ FYO
	くあ KWA						ぱ BA	ぴ BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO		ぴや BYA	ぴい BYI	ぴゅ BYU	ぴえ BYE	ぴょ BYO
が	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO	ば	ぱ PA	ぴ PI	ぶ PU	ペ PE	ぼ PO
	ぐあ GWA						ぴや PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
	さ SA	し SI	す SHI	せ SE	そ SO		ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
	しゃ SYA	しい SYI	しゅ SYU	しょ SYE	しょ SYO		みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO
ざ	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	や	や YA	い YI	ゆ YU	いえ YE	よ YO
	じや JYA	じい JYI	じゅ JYU	じょ JYE	じょ JYO		や LYA	い LYI	ゆ LYU	え LYE	よ LYO
	zya ZYA	zyi ZYI	zyu ZYU	zye ZYE	zyo ZYO		xya XYA	xyi XYI	xyu XYU	xye XYE	xyo XYO
	ja JA	ji JI	zu JU	je JE	jo JO		ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
た	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO	わ	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
			つ LTU	つ LTSU			わ WA	うい WI	う WU	うえ WE	を WO
	ちゃ TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO		わ LWA				
	ちや CYA	ちい CYI	ちゅ CYU	ちえ CYE	ちょ CYO		ん NN	ん N'			
だ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO	うあ	うあ VA	うい VI	う VU	うえ VE	うお VO
	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO		カ LKA	ケ LKE			
			とう TWU				カ XKA	ケ XKE			
	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO						
だ	ぢや DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO						
	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でょ DHO						
			どう DWU								

*1 このほか、後ろに子音を2つ続けて“つ”となります。

[例] せっけん: SEKKENN

*2 このほか、Nに続けて子音(A.I.U.E.O以外)を入力しても、“ん”となります。